あゆみ

Vol.60
60周年特別記念号
令和７年６月15日

公益社団法人　名古屋市獣医師会

表紙写真　**「タンチョウ」（牧の池どうぶつ病院 鈴木克弥先生）**

雪原で求愛ダンスをするペアのタンチョウです。

日本で観られる鶴の代表的な種とされ、タンチョウヅルとも呼ばれます。

北海道東部の釧路・根室地方に生息しており、全長は 140㎝、翼を広げると 250㎝になります。

2 月頃になると求愛が始まり、好みの相手を見つけるため、オス・メスのツルたちが美しいダンスを興じます。
写真のように互いに見つめ合い翼を広げ、鳴きながら飛び跳ねて優雅に舞います。

タンチョウは、アイヌ語で「サロルンカムイ（湿原･葦原の神）」と呼ばれ、古来から人々に大切に崇められてきました。
また、「瑞鳥」として神聖視され、縁起物や、芸術作品のモチーフとされています。

今号は 60 周年記念特別号ということで、縁起の良い「鶴の舞い」を選びました。

表紙題字　故 **芝田　松太郎** 氏
（名古屋市獣医師会　元会長）

あゆみ　Vol.60

巻 頭 言　創立60周年を迎えて
（公社）名古屋市獣医師会会長　三　浦　春　水 …… 1
創立60周年 特別寄稿 …… 3
名古屋市獣医師会 創立60周年式典・祝賀会 …… 16
令和６年度 公益社団法人名古屋市獣医師会 理事 …… 35
令和６年度 狂犬病予防集合注射　集合注射対策委員会…… 36
令和６年度 学校飼育動物委員会活動実績　学校飼育動物委員会…… 38
令和６年度 名古屋夜間動物救急センター報告　夜間診療所委員会…… 39
令和６年度 学術委員活動報告　学術委員会…… 41
令和６年度 学術奨励金事業　学術委員会…… 41
令和６年度 定期購読雑誌・書籍　学術委員会…… 42
令和６年度 学術セミナー　学術委員会…… 42
令和５年度 人獣共通感染症調査事業報告　学術委員会…… 43
令和５年度 傷病野生鳥獣保護活動集計　学術委員会…… 53
令和５年度 テレフォンドクター集計結果報告書　動物愛護事業委員会…… 54
令和６年度 長寿猫飼主表彰式 長寿猫写真展　動物愛護事業委員会…… 59
令和６年度 東山動物園の長寿動物への好物寄贈　動物愛護事業委員会…… 60
令和６年度 絵本寄贈　動物愛護事業委員会…… 61
動物フェスティバル2024なごや　動物愛護事業委員会…… 62
令和６年度 愛玩動物看護師法関連事業委員会事業報告
愛玩動物看護師法関連事業委員会…… 63
令和５年度 名古屋市人とペットの共生サポートセンター事業報告 …… 64
令和６年度 社会福祉法人 中部盲導犬協会への寄付 …… 66
災害対策委員会よりお見舞いとご挨拶　災害対策委員会…… 67
令和６年度 交流会　福祉厚生委員会…… 68
会員寄稿
　中東紛争とオイルショックの記憶　小　島　健　治…… 69
令和６年度 名古屋市獣医師会行事 …… 71
退会者報告 …… 71
物故者追悼 …… 71
協賛広告 …… 72
編集後記 …… 78

巻頭言

創立60周年を迎えて

公益社団法人 名古屋市獣医師会
会 長 三 浦 春 水

公益社団法人名古屋市獣医師会創立60周年を迎え、ご挨拶をさせて頂きます。

本会は昭和26年(1951年)社団法人愛知県獣医師会の名古屋支部として発足し、翌年から支部名を名古屋市獣医師会と改めました。昭和40年(1965年)６月、愛知県から社団法人の設立を許可され、７月の総会で承認され社団法人名古屋市獣医師会が誕生しました。その後、国の公益法人制度改革により平成23年(2011年)４月公益社団法人に移行しました。そして、今年、令和７年(2025年)で創立60周年を迎える事となりました。

60周年を迎えるにあたり、本会の設立から現在に至るまでご尽力を頂いた会員の皆様、ご指導ご支援を頂いた愛知県、名古屋市および日本獣医師会を始め関係諸団体の皆様に深く感謝を申し上げます。

本会の活動は、「狂犬病をはじめとする人獣共通感染症対策等の公衆衛生事業」「動物愛護精神の普及啓発を諮る目的の救急獣医療等の事業」「獣医学術の振興・普及を目的の研修、講習と学校飼育動物支援の事業」からなる公益目的事業、獣医師会館運営を主とした収益事業、会員向けの共益事業であります。

会の設立当時は狂犬病予防集合注射事業が主でしたが、時代と共に集合注射から病院注射への移行が多くなり、集合注射を中止した獣医師会も出てきました。当会は市民サービスとして今後も継続していく考えですが、屋外での注射行為を問題視する声も多く聞かれるようになっていますので、今後は多方面からの検討が必要となっていくと思われます。60周年を迎え、狂犬病予防集合注射業務を主とした獣医師会から生まれ変わる時期が来ているようです。今後は動物愛護事業が主たる事業になっていくと思われますが、当会も動物フェスティバルや夜間動物

救急センター運営などが事業の主軸となってきています。また、昭和58年(1983年)に竣工しました名古屋市獣医師会館も建物の老朽化が目立つようになり、建て直しを本格的に検討する時期になっています。

設立当時は、犬は番犬で外飼育、猫は出入り自由飼育が普通でしたが、今ではペットは家族の一員です。動物を遺棄・虐待した場合の法律も改正され、罰則も強化されました。ペット飼育可の賃貸物件も増えてきました。ただし、世界的に見れば日本はまだペット後進国です。世界の多くの国ではペット飼育率が50％以上ですが、日本は飼育率が37%と言われており世界ワースト３です。

今後の獣医師会の役目は、ペット飼育率を増加させ、獣医療業界を活性化させる事。ペット飼育により日本人の心と体を豊にする事。日本では医療従事者と認められていない獣医師の地位を向上させ、医療従事者と認めてもらえるようにする事。このような目的を達成する為に獣医師会は存在するべきだと考えています。その為には、関係諸団体の皆様と関係をより密接にしながら活動していく所存でありますので、今後ともご支援・ご協力を宜しくお願い申し上げます。

創立60周年 特別寄稿

このたび、名古屋市獣医師会は創立60周年記念を迎えることとなりました。これもひとえに皆様方の温かいご支援の賜と深く感謝申し上げます。

さて、この「あゆみ」の方でも創立60周年記念号を発行することとなりました。それに際して、諸先生方や関係各所の皆様に「**人と動物の共生社会について…これからの獣医療の役割**」という表題でご寄稿をお願いしましたところ、たいへんに多くの方からのご協力、ご寄稿を頂きました。この場を借りまして、厚く御礼申し上げます。

人と動物の共生社会について…これからの獣医療の役割

日本臨床獣医学フォーラム 名誉会長　石 田 卓 夫

表題は指定されていたので「これからの」となっているが、ここで書きたいことは「これからの」ではなく、「ずっと昔からで、これからも」ということである。何のことかといえば、獣医療の役割のことである。これから獣医療の役割が急に変わるのではなく、昔から当然あった役割を、まだわかっていない人もいるならば再認識しましょう、というのが与えられた題名「これからの」なのだと思う。

獣医療と一言で言ってもすべての獣医療を表すわけではなく、それぞれ目的を異にする獣医療があるわけで、それぞれ役割はずっと昔から定義されている。しかし、獣医大学では多分今も明確に教えられているわけではないので、若い人ほどわかっていないし、臨床経験の長い獣医師ほど自身の経験からわかっているのだと思う。その意味で、「これからの」は、これから臨床界に入ってくる人達への応援でもよいかも知れない。

獣医療を大別すると、人間が食べる動物の獣医療と、食べてはいけない動物の獣医療に分けられ、しかも食べてはいけないという境界は、国によっても、地方によっても、人によってもかなりあいまいであり、明確な線は引けない。しかしながら、動物の社会における役割で分類すると、比較的明瞭な区分が可能になる。これらは、いわゆる産業動物、あるいは生産動物と呼ばれている、群を対象にする産業動物獣医学と、野生動物・動物園動物などを対象とする野生動物獣医学、そして家庭内飼育動物を対象とする伴侶動物獣医学である。これらはそれぞれ目的を異にする獣医学ではあるが、大局的に見てなぜ国家が獣医師免許を与えているのかと考えれば、すべての獣医学は国民のためにあるということになる。すなわち、われわれ獣医師の究極の役割は、獣医学を通じて国民に奉仕するということである。

本稿には、人と動物の共生社会というお題を頂戴しているので、ここでいう動物とは、野生動物・動物園動物などと家庭内飼育動物に限定されるのであろう。野生動物・動物園動物に関しては、野生動物の保護、絶滅危惧品種の保存、繁殖、そして動物園動物のための疾病予防・

治療の獣医学および繁殖、そして展示動物のための福祉などが考えられる。これらは、豊かな社会作り、子供の教育などに重要な部門であり、国民のためにという目的の中に含まれる。以下では、家庭内飼育動物に関する獣医療の役割を詳説したい。

家庭内飼育動物は大別して、伴侶動物という定義に含まれる動物と、それ以外の飼育動物に分けられる。伴侶動物の要件はいくつかあり、それに合致するわずかな動物種だけが伴侶動物と定義されている。要件とは、1)長い人間との共生の歴史を通して人間への安全性がわかっているもの、2)その動物に対する獣医学が十分確立されていて、診断、治療、予防がしっかりできるもの、3)その動物の行動学が確立されていて、習性や行動がしっかりわかっているもの、4)その動物と人間の共通感染症がしっかり理解されて防疫対策も可能で、人間への危険が最小ということである。この要件が意味するところは、人間社会全般に迷惑や危害を加えない動物であること、正しいしつけができ、人間社会に適合するマナーを覚えさせられる動物であること、そして家族の一員としての動物に獣医学的なケアーを獣医師が自信をもってしっかり提供できることである。そして、この要件に合致する動物種は、現在では犬、猫、ウサギ、馬の４種しかない。すなわち、伴侶として飼育される以上、人間社会における幸せな共生を獣医学が保証できるものということになる。そしてそれ以外の飼育動物はいわゆるペットと呼ばれ、社会に対して危険をもたらすもの以外は飼育は自由であるが、獣医学としては完全には責任は持てないものである。

たとえば、フェレットはおおかた犬に似た動物で屋内での飼育も可能であり、医療に関しても獣医学は大体責任は持てるが、人と動物の共通感染症の問題で、ヒトインフルエンザウイルスに感染することから、高齢者にインフルエンザウイルスを移す危険性を持っているので、飼育は自由としても伴侶動物とはなり得ない。サルに関しては、行動学も未解明であり、人間に危険なウイルスを保有する危険性もあるので伴侶動物とはならない。最近よく飼育されているフェネックキツネに関しては、まったく獣医学が確立されておらず獣医師は責任を持った診療は不可能であるため､伴侶動物とはなり得ない。環境省のウェブサイトにはフェネックは犬のジステンパーウイルスに感染するため犬用の生ウイルスワクチンを使用してよいと書いてあったが、これで接種後に死亡した例もあり、米国ではリコンビナントワクチンを使用しているので安全性は高いと思われるが、それでも効果についてのしっかりしたデータがあるわけでもなく、獣医師側としては到底責任のもてる動物種ではない。

一方で犬に感染する危険な人と動物の共通感染症として狂犬病があるが、これは国を挙げての防疫体制と予防体制を完璧に行っているわが国では、脅威とはならない。しかし、米国のような汚染国においては、猫も野生動物からの感染の危険性がある以上、予防注射の対象動物となっているが、それでも正しいワクチン接種を行っていれば、安全な伴侶動物として最も多く飼育されている。

このような伴侶動物獣医学を実践する獣医師の役割とは、昔も今もであるが、飼育している家庭の幸せを維持することである｡すなわち､飼い主の心配を解消し､伴侶動物を美しく長生きさせ、家庭内の幸せが続き、子供がよい大人に成長し、よい社会を作って行くというように、われわれ獣医師の日常の仕事が、家庭動物の診療を通じて、よりよい社会作りに貢献するわけである。

獣医大学の入学試験での面接では、昔は必ずといってよいほど獣医師を目指す動機を聞いていたが、そこで社会のために獣医師になると答える若者はごくまれであった。大方、動物が

好きだから、動物の命を助けたいという答えが返ってくる。これらは当たり前のことで、目的ではなく手段であるので、獣医師を目指す若者が獣医学の本質を理解しているようには思えなかった。もともと、高校を卒業したての若者を、獣医大学という高度専門教育に入れることがそもそもの間違えなのだが、それでも優秀な偏差値を持って難関を突破してきた若者の能力を、はたしていまの獣医学教育は伸ばしているのだろうかという疑問もある。

獣医学教育の最初には、獣医学総論で、獣医学の各分野の社会に対する役割をしっかり教える必要があるが、新卒獣医師をみる限り、一部の大学を除き、そのような教育をしっかり受けてきたようには見えない。とくに伴侶動物獣医学分野においては、伴侶動物の飼育、すなわちヒューマンアニマルボンドが人間社会にもたらす効能について教える必要がある。同時にヒューマンアニマルボンドは一方向のものではなく、それがあることで家庭内の伴侶動物にも恩恵が与えられることも教えなくてはならない。これらには、人と動物双方の福祉、医療、教育の３つの分野での大きなメリットがある。福祉というのは高齢者や一人暮らしの人の心の支えとなる伴侶動物の存在であり、それが人間の精神的健康を高めることと同時に、実際に医学的なメリットや健康寿命の延長といういくつものエビデンスが生み出されている。そしてそれは経済にも密接に関連し、医療費削減という大きなメリットを国家や保険機構にもたらしている。教育という面では、次世代の社会構成員を育てるという意味で、子供の教育に大きなメリットがあることがわかっている。自分より弱いものを育て、護るという優しい心を子供に植え付けることができる。

これらの効果は人間だけのためのものではなく、伴侶として家族の一員となった動物には、十分なケアーや医療が受けられるという福祉上のメリットがあり、さらに何らかの理由で飼育が不可能になった動物に、第二の家庭をみつけて、動物の福祉が途切れないようにする活動も含まれる。医療はもちろん、ヒューマンアニマルボンドがあるからこそ、動物は良質な医療が受けられるわけで、そして社会適合性のために、教育（しつけ）も受けられるということになる。

一次診療の動物病院では、このような目的を持って広く仕事を行うので、仕事がないなどということはありえないだろう。すなわち動物病院の役割とは、伴侶動物の「ゆりかご前からお別れの後まで」である。このことは、動物飼育を望む人々に飼育前のアドバイス、動物種、品種選びなどのサービスを提供し、飼育開始とともに、ワクチン接種、しつけ、ハミガキ指導、食事指導、運動指導などを始める。その後は定期健診による病気の早期発見に努め、老年期には様々な治療の早期介入を行い、動物の一生を通じてのウェルネスを管理する。これによって、飼育家庭では安心して家族の一員と長い間一緒に生活することができ、幸せな家庭が続くのである。そして幸せな家庭で育った子供はよい大人になり、平和な社会実現に貢献するだろう。

こういったことが伴侶動物獣医師に求められる仕事で、最終の目標は動物の医療を通じて、よい家庭、よい社会作りに貢献することである。獣医学は科学の一分野である。科学とは人間社会をよりよいものにするために存在し、一握りの科学者のためにあるものではない。そして、社会のニーズは時代とともに変遷し、科学はそのニーズに合わせて進化していくものである。これからも獣医師はこのような決意と使命感を持って、社会のために奉仕しなくてはならない。それに加えて、これからの獣医師は、高齢者が安心して伴侶動物と一緒に幸せな生活を送れるようにサポートする仕組みを獣医界全体で構築し、飼育動物の数の減少に歯止めをかけなければ、日本は先進国とは言えない国に成り下がってしまうだろう。

人と動物の共生社会について…これからの獣医療の役割

アームズ株式会社　氏 政 雄 揮

公益社団法人名古屋市獣医師会の三浦会長をはじめ役員・会員の皆様、創立60周年を心よりお祝い申し上げます。

人と動物の関係は、時代とともに変化しています。かつて犬は番犬として犬小屋で飼われ、猫も家の中と外を自由に行き来して生活することが一般的でしたが、現在では家族の一員として室内飼いが推奨され、動物と人の距離が非常に近くなっています。近年では野生動物と人間との距離も重要な課題となっており、生息地の減少や都市化による人との衝突が問題視されています。また、人工肉などの研究も進んでいますが、牛豚鶏などの産業動物は今なお私たちの生活を支える不可欠な存在です。これらの変化は獣医療のあり方にも大きな影響を及ぼし、獣医療関係者は人と動物の共生を支える包括的な役割を果たすことが求められています。

人と動物の共生社会において、獣医療は公衆衛生の視点からも重要です。幸い、日本では狂犬病は何十年も発生していませんが、鳥インフルエンザや重症熱性血小板減少症候群（SFTS）、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）のように動物から人へ感染する疾患への対応が求められます。緊急事態宣言下でも獣医療関係者はエッセンシャルワーカーとして業務に従事し、休業を求められない必要不可欠な存在です。

さらに動物福祉の向上も重要なテーマです。動物愛護法が改正され、動物に対する虐待や遺棄に関する罰則が大幅に強化されています。獣医師は科学的な知見をもとに、動物を飼育しない人にも適切な助言を行うべきです。また、動物保護施設と連携し、保護された動物の適切な飼養管理や譲渡支援を進める活動も重要です。産業動物の福祉向上も欠かせず、動物のストレス軽減や健康管理が生産性の向上に直結します。農林水産省により適正飼育のガイドラインが示され、それに基づいた管理が求められています。

これからの獣医療は、単に動物を診るだけではなく、ワンヘルス（One Health）の旗の下、人・動物・環境の健康を一体として捉え、「人と動物が共に健やかに生存できる社会」を支える存在でなければなりません。そのためには獣医師が専門知識を活かしつつ異業種とも協力しながら、より広い視点で社会と関わることが求められます。動物の命と向き合う獣医療が、ひいては人々の豊かな生活を支える基盤となることを忘れてはなりません。

人と動物の共生社会の実現に向け、獣医療はこれからも進化を続ける必要があります。その中で、獣医師会は地域における獣医療の発展と公共の健康を支える指導的な役割を担っています。

公益社団法人名古屋市獣医師会は、先駆的に既に上記の社会的使命を果たされている素晴らしい団体であると以前より敬意をもってその活動を拝見しております。今後も会員の皆様のご協力を得て、人と動物の共生社会の未来に先んじて下さいますようお祈り申し上げます。

人と動物の共生社会について…これからの獣医療の役割

株式会社エランコジャパン

獣医療は、人と動物の共生社会において、今後ますます中心的な役割を担うことは間違いありません。でもどんな点で貢献できるのか、充分にディスカッションされていないかもしれません。そこで思いつくままにいくつか現在獣医療が担っている重要な役割を簡単に述べ、それを踏まえて今後の獣医療がどのように人と動物の共生社会の促進に貢献していくかを整理したいと思います。

●動物の健康と福祉の向上

これは言うまでもなく獣医療の根幹となる役割です。病気の予防、診断、治療だけでなく、QOL(生活の質)の向上、高齢動物のケア、終末期医療など、動物の生涯にわたる健康と福祉の向上に貢献することは獣医療の最も重要な役割です。

●人と動物の絆の強化

獣医療は、人と動物の絆を深める役割を担います。人と動物との共通点や相違点を探求し、動物の生理・行動や人間との心理的な関係の理解を深め、飼い主とのより良い関係構築を支援することで、人と動物が共に生きる喜びを最大化するために中心的な役割をはたします。

●公衆衛生の向上

獣医療は人獣共通感染症の予防と対策において重要な役割を担います。動物由来の感染症のリスクを評価し、適切な対策を講じることで、公衆衛生の向上に貢献します。

●持続的なタンパク源の供給技術の向上

獣医療は、家畜の健康管理、生産性向上、食品安全など、畜産に関連する幅広い分野で専門知識を提供することで、効率の良い人へのたんぱく質の持続な供給を可能する技術向上に貢献します。

●倫理的な問題への対応

動物実験、遺伝子操作、野生動物の保護など、社会を取り巻く倫理的な問題についても、動物医療の立場から適切なエビデンスを提供し続けることで、社会全体の倫理観をふまえ動物の福祉と社会の利益のバランスを考慮した意思決定に貢献します。

以上簡単に現在の「人と動物の共生社会」における獣医療の役割を列挙しましたが、将来獣医療が向かっていくべきところはどこなのでしょうか？

よく言われることですが、地球において人間だけで存在することはできません。数えきれない生物が微妙なバランスを保つことで地球上にお互い存在ができるのです。同じ地球で生きるものとして、人の利益だけを強調するのではなく、動物の生理・行動を理解して動物の立場から大きな視点をもって共生を考える必要があります。

その「動物の立場からの視点」を人間の勝手な思い込みや感情論ではなく客観的・科学的に示していくことができるのが(唯一？)獣医療であり、今後「永続的な人と動物の共生社会の実現」に貢献する獣医療の大きな役割といえるのではないでしょうか。

人間からの一方的な上からの視点を、科学的に「動物の視点」から提言し続けることが今後も獣医療の大きな役割と考えます。

人と動物の共生社会について…これからの獣医療の役割

共立製薬株式会社 CA営業本部兼PA営業本部 営業本部長　寺 田 武 史

公益社団法人名古屋市獣医師会会誌「あゆみ」の60周年記念誌が発刊されるにあたり、心からお祝い申し上げます。

また、長きにわたり賛助会員として共に歩ませていただきましたことに、心から感謝申し上げます。

この紙面を借りまして、名古屋市の獣医師の先生方が、地域の公衆衛生の向上、産業動物及び小動物医療の発展、さらには動物愛護活動ご尽力なさられてきたことへ改めて敬意を表します。

さて、共立製薬は、貴会の発足からさかのぼること10年、1955年に創業し、2025年５月19日に創業70周年を迎えます。

創業当時の1950年代、高度経済成長期を迎えようとしている東京では、冷蔵庫・洗濯機・テレビという「三種の神器」が登場し、人々の暮らしにも徐々に活気が戻りつつある時代でした。

弊社の創業者である髙居百合子が、「動物と人の絆をつなぎたい」と心に期し、共立製薬の前身「共立商事」を創業したのが弊社の始まりとなります。しかし、まだまだ日本国内は戦後復興の真っ只中、「犬は番犬」「猫はネズミ駆除のためのもの」という考え方が当たり前で、欧米のような「動物医療」の考えは浸透していない現状があったと聞いております。

それから70年の月日は流れましたが、「共立商事」の頃より、名古屋市獣医師会の先生方とともに歩ませていただき、共立製薬となった今もなお、犬・猫・そして畜産動物へ向けたさまざまな動物用医薬品や飼料などを日本に流通させ、多くの動物の疾病治療、感染症予防や健康増進に取り組み、「動物と人の絆を深めたい」「より良い薬や知識を、多くの獣医師や生産者に届けたい」という想いを胸に、常に挑戦し続けております。

獣医療業界におきましては、今後より一層変化への対応が求められる時代になるであろうと予測いたしますが、動物用医薬品等を取り扱う企業一丸となり、これまでの60年同様、これからの60年、更にその先まで、名古屋市獣医師会のご発展に貢献してまいりたいと思います。

貴会のますますのご発展をご期待申し上げ、会員の皆様のご健勝とご活躍を心から祈念いたします。

人と動物の共生社会について…これからの獣医療の役割
― ゾエティス・ジャパンの役割と貢献 ―

ゾエティス・ジャパン㈱ コンパニオンアニマルビジネス統括部 マーケティング部　村 瀬 正 典

日本では、犬の飼育頭数が減少傾向にあります。このような状況下で、ゾエティス・ジャパンは人と犬猫との共生を支援するための多岐にわたる取り組みを行っています。その中でも特に注目すべきは、弊社のCSR活動と革新的な製品の開発、患者動物のご家族への支援活動です。

まず、弊社のCSR活動について述べます。CSR（企業の社会的責任）活動とは、企業が利益を追求するだけでなく、社会や環境への配慮を行う責任を指します。具体的には、環境保護、人権尊重、地域社会への貢献など、企業が社会全体に対して果たすべき責任を含みます。弊社は、「人間と動物の絆」（Human Animal Bond）を強化することを目指し、セラピードッグの派遣や乗馬体験、小学生や中学生への講演活動などを通じて、幅広い世代に癒しと教育を提供しています。これらの活動は、特に子供や高齢者に対して大きな影響を与えており、セラピードッグとの触れ合いは、子供たちに対しては情緒の安定や社会性の向上を促し、高齢者に対しては孤独感の軽減や心身の健康維持に寄与すると考えます。

次に、弊社がベネッセと共同で行っている「ハッピーメディケーションクラブ」について紹介します。このプロジェクトは、「犬猫に優しい投薬」をテーマに、飼い主がより良い医療を受けられるよう支援する活動です。当該クラブでは、犬猫の飼い主に向けて、様々な疾患治療の悩みや体験を飼い主同士で共有する場を提供しています。また、適切な疾患情報を提供することで、安心して獣医師による治療を受け、快適に来院が継続できるようにサポートをしています。

投薬の負担を減らす薬剤として、昨年弊社より発売された「アポキルチュアブル」が挙げられます。当該薬剤は、犬のアトピー性皮膚炎やアレルギー性皮膚炎の治療に用いられますが、高い嗜好性により、犬が喜んで摂取できるチュアブルタイプの薬です。これにより、皮膚疾患で長期間の投薬を必要とする飼い主の負担を軽減し、犬の皮膚科治療をスムーズに行い、継続できるようなコンセプトとなっています。

また、リブレラは、犬の変形性関節症に伴う疼痛を緩和するための注射薬で、月に一度の投与で効果が持続し、高齢犬や腎臓病などの罹患犬への投薬制限はありません。ソレンシアは猫の変形性関節症に伴う疼痛を緩和するための抗体製剤で、神経成長因子（NGF）に結合して痛みのシグナルを抑制することで、猫の変形性関節症による痛みを効果的に管理します。当該薬剤においても、幅広い年齢層の猫において安全性を評価しており、高齢猫にも投与が可能です。これらの薬剤は、獣医師と飼い主の負担を軽減し、犬猫の生活の質を向上させるだけでなく、飼い主の心理的負担を軽減することで、動物と人間の絆を深める役割を果たしています。

日本の小動物医療には、まだ多くの課題が残されています。例えば、高齢化するペットの増加に伴い、慢性疾患の管理や予防医療の重要性が増していると筆者は考えます。また、経済的な理由で適切な医療を受けられない犬猫や、そもそも飼育ができない家庭環境も増加しています*。これを解決するための支援策が求められ、これらの課題に対して、ゾエティス・ジャパンも積極的に取り組んでいきたいと考えています。その一助として、今後も革新的な製品やサービスを提供し続け、飼い主への適切な疾患啓発、獣医師への来院促進に注力をしていきます。これらの活動により、人と動物のよりよい共生社会の実現を支援して参ります。

最後に、公益社団法人名古屋市獣医師会の創立60周年を心よりお祝い申し上げます。

＊令和６年全国犬猫飼育実態調査ペットフード協会（https://petfood.or.jp/data-chart/）

祝　辞

蓬莱山 長楽寺 住職　久 喜 清 外

皆様におかれましては、日々動物供養の尊いお努めに邁進されていることと存じます。本会報誌も、会員の皆様のご協力と御支援を賜りながら発行を続けられていることを心より感謝申し上げます。

ご承知のようにペットは単なる愛玩動物ではなく、家族の一員としての存在が広く認識されるようになりました。そんな中、移動火葬車やシェアリングテクノロジーのような業者が蔓延る状況に、当会はあらゆる警鐘を鳴らしてまいりました。我々の使命は、故された動物達の魂を敬い、これからも揺るぎない信念をもってこれらとの戦いを続けることであります。今後とも皆様のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

今、アメリカの森林火災の拡大による大自然の焼失、「地球の肺」といわれたアマゾンの開発による自然破壊、そして海上の気温上昇による気候変動の未曾有の災害、今地球は悲鳴をあげているのではないでしょうか。加えて、終わらない人間同志の戦争の拡大、こうした争いは確実に自然環境を破壊していきます。核戦争ともなれば、人間だけではなくあらゆる生命が生存することが難しくなることでしょう。皆さん地球にも太陽にも寿命があります。戦いはある意味では必要ではありますが、ロシアやウクライナがしているような戦争をしている場合ではありません。地球の命は約半分を過ぎていると言われております、刻々とその終焉に迫りくる中で、「みな地球の生命体」でその危機を乗り切らなければいけません。

そんな時代において、動物や自然を大切にする「みな地球の生命体」という価値観は、新しい思想となりえるのではないでしょうか。

長楽寺境内には豊富な自然の中に蝶や虫達、鳩やカラスなどが自由に飛びまわっております。そんな境内の光景を見られたある参拝者からは「極楽浄土を具現化したらこんな感じなのかな」と言われたこともございます。また「一寸の虫にも五分の魂」と言いますが、これはあくまでも人を中心にした考え方で、どんなに小さくて弱者であっても馬鹿にしてはいけないということわざではありますが当山では人だけの話に留まらず、虫等の小さな命の尊厳も私自身の実体験を通じて皆様にお話してきました。ペットちゃんはもちろん、小さな虫達から動物たち、そして木々や土、そのどれも地球の生命体であり、人間が突出した存在などということはありえません。神々が創生した地球上の全てのものは、どれも意味があって存在しています。そして動物供養はその新しい価値観の始まりとなるのです。

皆様、まもなく次は地球時代が始まります、旅支度を急ぎましょう。

合掌

名古屋市獣医師会設立60周年に寄せて

日本全薬工業株式会社 代表取締役社長　福 井 寿 一

このたび、公益社団法人名古屋市獣医師会が創立60周年を迎えられましたことを心からお祝い申し上げます。貴会創立から今日に至るまで、歴代会長を始めとして会員獣医師の皆様が名古屋市の公衆衛生向上に尽力し、またより良い動物と人間の関係構築に向けて数多くの取り組みを実施されてきたことについて、深く敬意を表します。

近年、新型コロナウイルス感染症の登場は世界に大きなインパクトを与え、人々の健康はもちろんのこと、経済にも深刻な傷跡を残しました。一方で未曽有の困難を打開すべく、働き方に対する考え方を始めとして新しい生活様式への対応が急速な広がりを見せ、現在まで続いております。現代が変革の時代であることは誰しもが感じることと思います。

日本の人口は2008年の１億2,808万人をピークに減少を続け、2050年には１億人を割るとの予測がたてられております。この事実と呼応するように畜産生産者戸数は減少を続けており、また犬の登録頭数は６百万頭台にまで落ち込むなど、日本、そして獣医療の未来にとって厳しい現実が明らかになっています。しかしながら、この変革の時代、新しい技術や新しい発想によって明るい未来を切り開く可能性も大いにあると考えます。決して後ろ向きにならず、未来志向で動物に関わるあらゆる企業、団体が協力し知恵を出し合い、次世代に動物と人との豊かな関係を継承していくことを願ってやみません。そのためには、常に動物の命と向き合い社会に貢献されてきた獣医師の方々のお力添えが欠かせません。今後ともどうぞご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

60年前と同じく、本年の干支は「乙巳（きのとみ）」であり、乙巳は「変化に対応し、さらなる成長を遂げる」年とされています。貴会が創立60周年を節目として、今後一層ご発展されることを、また会員の皆様の益々のご活躍を祈念いたしまして、ご挨拶とさせていただきます。

祝　辞

日本ヒルズ・コルゲート株式会社 営業本部長　佐々木　崇

このたび、公益社団法人名古屋市獣医師会様が創立60周年を迎えられましたこと、心よりお祝い申し上げます。

近年、ペットの登録頭数は減少傾向にある一方で、ペットの平均寿命は延び続けています。その主な要因として、獣医療の進歩をはじめ、不妊・去勢手術の普及、栄養学や食事の発展などが挙げられます。また、「ペットは家族の一員である」という飼い主の意識が高まり、ペットの生態や習性に合わせた適切な飼育管理が行われるようになったことも、大きな要因の一つと考えられます。

ペットの長寿化を支える要素の一つとして、ペットフードの進化が挙げられます。フードメーカーとして、ペットフードに関する現状について少し触れさせていただきます。近年、栄養学の発展により、ペットフードは疾患の予防や治療にも活用されるようになりました。また、飼い主とのコミュニケーションやしつけのツールとしての役割も果たし、ペットの健康や生活の質に大きく影響を与えるものとなっています。そのため、飼い主がペットの食事に対する正しい知識を持ち、適切に給餌することが非常に重要です。

このような状況において、動物病院がペットの食事管理を担う意義は非常に大きいと考えます。来院するペットの健康管理の一環として、動物病院が個々のペットに応じた適切な食事指導を行うことで、健康寿命の延長や生活の質の向上、さらには疾患の予防や治療に寄与し、飼い主に快適なペットライフを提供することが可能となります。そのためには、獣医療関係者の皆様が栄養学やフードについて正しく理解し、飼い主に適切な情報を伝えることが重要です。また、私たちフードメーカーも、栄養学・フードの観点から飼い主とペットの共生をサポートするため、今後とも獣医療関係者の皆様と協力しながら取り組んでまいりたいと考えております。

最後になりますが、名古屋市獣医師会様が今後80周年、100周年とさらなる発展を遂げ、役員の皆様をはじめ関係者の皆様が一層ご活躍されることを心よりお祈り申し上げます。以上をもちまして、私からのお祝いの言葉とさせていただきます。

祝　辞

富士フイルムVETシステムズ株式会社 代表取締役社長　藤 原 清 隆

名古屋市獣医師会 会員の皆様、創立60周年おめでとうございます。

さて、現在の獣医療業界にはさまざまな課題があります。そのひとつが、犬や猫の高齢化に伴う問題です。人だけでなく犬や猫の平均寿命も延伸したことで、今まで以上に無理なく安心して、ペットとともに健康的な生活を維持していくことが必要です。

その中で名古屋市獣医師会の皆様が取り組んでおられる、①公衆衛生事業　②動物愛護事業　③学術事業は非常に重要な課題です。

当社といたしましても、動物の受託検査サービス、院内検体検査機器やX線画像診断装置、超音波画像診断装置などの提供、さらにITシステムによる検査データの活用と皆様と歩調を合わせて、一緒に発展していくことを切に望みます。

また、富士フイルムグループはグループパーパス「地球上の笑顔の回数を増やしていく。」を基に活動しています。

今後ますます必要となる人、動物、環境の健康、調和を目指して協力していきましょう。

改めまして、創立60周年おめでとうございます。

祝　辞

ベーリンガーインゲルハイム アニマルヘルス ジャパン株式会社 代表取締役社長　西 見 泰 浩

このたび公益社団法人名古屋市獣医師会が創立60周年を迎えられますことを心よりお祝い申し上げます。

貴会は昭和40年に社団法人として設立されて以来、狂犬病などの人獣共通感染症の予防接種の展開など公衆衛生の保全をはじめ、適切な動物飼育法・病気治療などの健康相談、動物愛護の推進、獣医学卒後教育による獣医医療技術・医療サービスの向上など、公益性を重視した活動で名古屋市の獣医療の発展にご尽力されてこられたと伺っております。また、毎年名古屋市と「動物フェスティバル」を共催されるなど、地域全体で人間と動物が快適に生活できる町づくりにも注力され、多方面にわたり大きな貢献をされてきたことに深い敬意を表します。

また、その間、私どもベーリンガーインゲルハイム アニマルヘルス ジャパン株式会社の活動にもご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

昨今、特に少子化と高齢化が進む日本において、ペットはますます家族の一員として重要な存在となっております。ペットと共により長く健康に暮らすことで、心の癒しや生活の質の向上が期待されており、動物医療の役割もますます重要になっています。畜産分野では、食の安全に対する消費者・社会全体の関心および安全でおいしい食肉への要望が高まり、動物飼養の管理体制や生育情報等の情報開示も注視されております。この60年間の様々な環境変化の中で、先生方が日々のご研究において、また、獣医療の現場において、最新の状況や事例、そしてペットオーナーの方々、農家の方々とより良い獣医療のご提供に努めてこられたこと、そして今現在も最前線でご尽力されていることに、あらためて心服しております。

私たちベーリンガーインゲルハイムは、「動物と人の健康は互いに関連している」という信念のもと、獣医師の先生方をご支援し動物医療の発展に努めてまいりたいと思っております。ペット（コンパニオンアニマル）領域では疾病予防と治療に全力を尽くし、動物とペットオーナーの方々の生活の質を向上させることを目指し、また、産業動物（ライブストック）分野においては、健康的で持続可能な方法で畜産動物を飼育し、畜産農家や生産者の方々をサポートすることが重要な使命と考えています。いずれの分野でも、獣医師の先生方からのご教示、ご指導、ご支援があってこそできる取組みです。

私たちは、これからも今まで以上に先生方のご要望を深く理解し、よりイノベーティブな医薬品やサービスと有益な情報をご提供し、ご支援させていただきたいと強く思っております。今後も、先生方にはそれぞれのご専門分野や現場での最新の知見をご教示・ご指導いただき、動物と人間がともに長く健康であるために寄与してまいりたいと思います。引き続きのご指導・ご鞭撻をどうぞよろしくお願い申し上げます。

最後に、名古屋市獣医師会のますますのご発展と、皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

人と動物の共生社会について…これからの獣医療の役割

ロイヤルカナンジャポン合同会社

人と動物の共生において、獣医療は欠かすことのできない多くの役割を担ってきましたが、今後の獣医療はテクノロジーの進化や社会的なニーズの変化を反映し、ますます多様化し重要性を増していくと考えられます。つまり、動物の疾患を治療するだけでなく、予防医療に代表されるような動物と人が共に健康で幸福に暮らせる社会を支えるための重要な役割を担うことになると考えています。

こうした社会環境の中で、ロイヤルカナンは栄養学のエキスパートとして、さまざまな分野の専門家との協働により、生涯にわたり栄養を通じてペットの健康を維持・管理し、一頭一頭を真の健康に導くことで獣医療への貢献を目指しています。

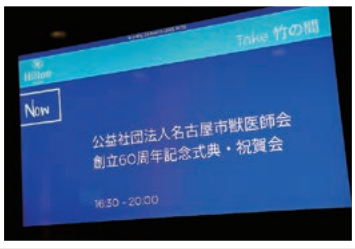
さらに、愛犬・愛猫の真の健康のためには、ライフステージや疾患に応じた最適な栄養バランスの製品を開発および提供するだけでなく、その製品を専門家の適切な指導の下に犬や猫に届けることで初めて実現すると考えています。

そこで、その理念を実現するために、ロイヤルカナンでは2024年10月に流通改革を実施し、食事療法食のすべてを獣医師の診療指導に基づいて提供する体制を確立しました。すなわち、この改革により、ロイヤルカナンの食事療法食を扱う動物病院では、犬や猫、ペットオーナー、動物病院の情報が連携され、購入履歴が可視化されることで食事管理がより一層徹底されるようになりました。また、この体制により、ペットオーナーは獣医師から直接、疾患と適切な栄養管理に関する正しい知識を得られるようになったといえます。

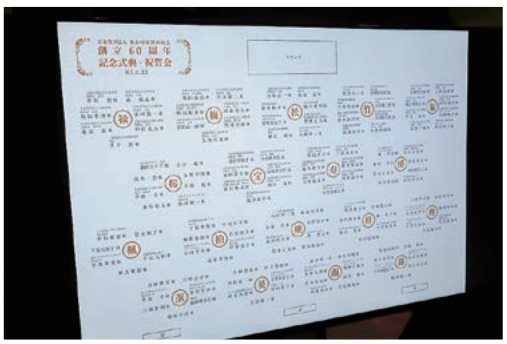
このように、流通改革を通して、すべての犬と猫を真の健康に導くというロイヤルカナンの理念を実現させるとともに、動物病院や獣医療業界との強固な連携のもと、最新の栄養学の提供と食事療法食を通じたペットオーナーとペットとの関係性強化に、革新的な取り組みを共に推進し、業界全体の発展に向けて全力で邁進し続けていく所存です。

名古屋市獣医師会 創立60周年式典・祝賀会

令和7年3月23日（日）午後4時30分より、ヒルトン名古屋・竹の間にて公益社団法人 名古屋市獣医師会 創立60周年記念式典・祝賀会が開催されました。



受付風景



記念式典・開会の辞

名古屋市獣医師会　副会長　鈴村直広より開会の辞が述べられて、記念式典が厳かに開会いたしました。

主催者挨拶

名古屋市獣医師会　会長　三浦春水より挨拶が述べられ、また執行役員が紹介されました。

御来賓

〈敬称略〉

愛知県農業水産局畜産振興監 兼 畜産課長
野 田 正 人

名古屋市健康福祉局 生活衛生部長
村 松 智恵子

名古屋市東山総合公園 総合公園長
山 田 英 一

名古屋市東山動物園 園長
細 江 航

名古屋市健康福祉局 担当課長
尾 関 慎太郎

名古屋市緑政土木局農政部 担当課長
茶 谷 公 一

名古屋市動物愛護センター 所長
山 岸 純二朗

名古屋市東山動物園 副園長
今 西 鉄 也

名古屋市健康福祉局 獣医務課長補佐
久保田 太 郎

(公社)日本獣医師会 副会長
鳥 海 弘

(一社)日本小動物獣医師会 会長
長 崎 淳 一

名古屋市会議員
横 井 利 明

名古屋市会議員
藤 田 和 秀

(公社)日本動物病院協会 会長
宗 像 俊太郎

(公社)埼玉県獣医師会 会長
中 村 滋

(公社)埼玉県獣医師会 理事
高 橋 一 成

(公社)東京都獣医師会 会長
上 野 弘 道

(公社)川崎市獣医師会 会長
田 村 通 夫

(公社)横浜市獣医師会 会長
溝呂木 啓 之

(公社)富山県獣医師会 会長
久 保 博 文

(公社)石川県獣医師会 会長
宮 野 浩一郎

(公社)岐阜県獣医師会 会長理事
柴 田 真 治

名古屋市東山動物園 園長
橋 川 央

(公社)愛知県獣医師会 会長
吉 永 祐 二

(公社)三重県獣医師会 会長
西 山 治 生

(公社)三重県獣医師会 副会長
竹 川 善 則

(公社)滋賀県獣医師会 会長
石 田 龍 一

(公社)京都市獣医師会 会長
森 尚 志

(公社)大阪府獣医師会 会長
佐 伯 潤

(公社)大阪市獣医師会 会長
髙 山 孝 博

(公社)大阪市獣医師会 副会長
桑 原 岳

(公社)神戸市獣医師会 会長
中 島 克 元

(公社)広島県獣医師会 会長理事
川 野 悦 生

(一社)堺市獣医師会 会長
大 下 勲

(一社)福岡市獣医師会 会長
東 田 周 三

鈴木・久保田法律事務所 代表弁護士
鈴 木 智 洋

税理士法人名南経営 理事長 税理士
安 藤 教 嗣

税理士法人名南経営 税理士
佐 藤 易 秀

御来賓祝辞

御来賓の方々より、祝辞を頂戴いたしました。

愛知県知事代理・愛知県農業水産局 畜産振興監兼畜産課長　野田正人

名古屋市長代理・名古屋市健康福祉局生活衛生部長　村松智恵子

公益社団法人 日本獣医師会 会長代理
公益社団法人 日本獣医師会 副会長　　鳥海　弘

名古屋市会議員　横井利明

名古屋市会議員　藤田和秀

表　彰

愛知県知事表彰（２名）
鈴村直広　　小川幸哉

名古屋市長表彰(10名)

杉方保毅　星野準明　林　友一郎　座間忠一　中川　操　森島隆司
加藤　巧　成田隆信　柴田恵美子　保田恭志

代表　保田恭志

名古屋市健康福祉局局長表彰(12名)

小島健治　土井　収　湯木正史　夏目里枝子　山岡新生　岡田　茂
小畑　茂　滝本　豊　小坂智郎　大﨑龍也　浅井悠平　松波登記臣

代表　夏目里枝子

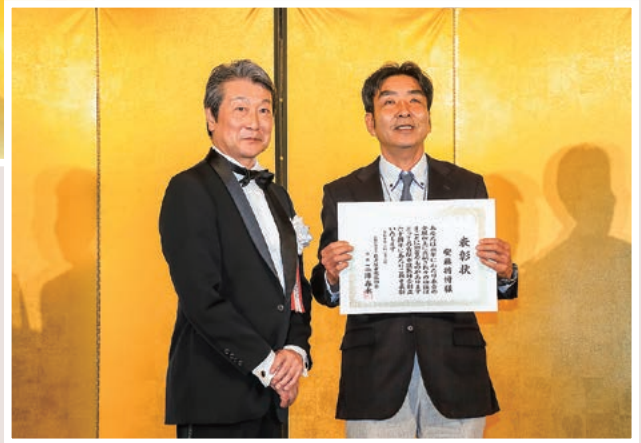
公益社団法人 日本獣医師会会長表彰（２名）

荻曽敏之　　三浦春水

公益社団法人 名古屋市獣医師会会長表彰（９名）

安藤将博　島田隆幸　水野雅之　鈴木克弥　伊藤夏樹　児玉順子
寺門俊博　水野景介　山﨑憲生

代表　安藤将博



公益社団法人 名古屋市獣医師会会長感謝状（顧問）

鈴木・久保田法律事務所　代表弁護士　　鈴木智洋

税理士法人 名南経営　　理事長 税理士　　安藤教嗣

公益社団法人 名古屋市獣医師会会長感謝状（会員10名）

福田猛志　玉井康教　三岡幸司　岩田寛剛　下谷真智子　小林祐介

山田浩司　大島太一　森島常統　山﨑　翼

代表　森島常統

祝賀会

一般社団法人日本小動物獣医師会 会長 長崎淳一氏による乾杯の御発声の後、賑やかに祝賀会が始まりました。

余　興

マジシャン TAKE 氏によるイリュージョンショーが行われました。

祝電披露

宴も酣の中、祝電が披露されました。

表　彰

名古屋市獣医師会会長より、関係企業様へ感謝状が贈られました。

公益社団法人　名古屋市獣医師会会長感謝状（企業）

アークレイマーケティング株式会社　　株式会社アスコ
アニコム損害保険株式会社　　アメリカン・エキスプレス・インターナショナルInc.
共立製薬株式会社CA名古屋営業所　　株式会社サンリツセルコバ検査センター
慈妙院動物霊園　　獣医眼科クリニック名古屋　　社会福祉法人中部盲導犬協会
長楽寺動物霊園　　同和化学株式会社　　中北薬品株式会社
日本全薬工業株式会社　　日本動物高度医療センター名古屋
日本ヒルズ・コルゲート株式会社　　株式会社ファイネス
富士フィルムVETシステムズ株式会社　　物産アニマルヘルス株式会社
株式会社ベッツ・チョイス・ジャパン　　株式会社堀場製作所名古屋セールスオフィス
三井住友トラスト不動産株式会社　　株式会社レナテック　　株式会社ワコーヴィスコム

株式会社アスコ　脇田氏

余　興

当会理事の大﨑龍也と、ベーシスト木全希巨人 氏によるジャズセッションで盛り上がりました。

祝　宴

賑やかに和やかに祝宴が続きます。

念式典・祝賀会

和やかに祝宴が続く中、マジシャン TAKE 氏が各テーブルを廻ってテーブルマジックを披露しました。

閉会の辞

記念式典・祝賀会担当理事、名古屋市獣医師会副会長の保田恭志より、閉会の辞が述べられました。

最後は、公益社団法人埼玉県獣医師会　会長の中村滋先生に、勇壮に締めて頂きました！

役　員

左から
岡田　茂（監事）　夏目里枝子（理事）　大﨑龍也（理事）　小島健太郎（理事）　保田恭志（副会長）　三浦春水（会長）
鈴村直広（副会長）　浅井悠平（理事）　松波登記臣（理事）　山﨑憲生（理事）　山岡新生（監事）

令和６年度 公益社団法人名古屋市獣医師会 理事

役　職	氏　　名	担当委員会
会　長	三　浦　春　水	総括／狂犬病予防委員会／ 倫理委員会／制度調査委員会
副会長	鈴　村　直　広	総務／獣医事対策／災害対策
副会長	保　田　恭　志	会計／情報公開(新規)／会館運営委員会
理　事	夏　目　里枝子	愛玩動物看護師法関連事業委員会
理　事	小　島　健太郎	学術委員会
理　事	浅　井　悠　平	ホームページ委員会／ 集合注射対策委員会
理　事	松　波　登記臣	夜間診療所委員会／学校飼育動物委員会
理　事	大　﨑　龍　也	会誌委員会／福祉厚生委員会
理　事	山　﨑　憲　生	動物愛護事業委員会
監　事	岡　田　　茂	な　　し
監　事	山　岡　新　生	な　　し

令和６年度 狂犬病予防集合注射

集合注射対策委員会

■令和６年度狂犬病予防集合注射実施結果

１．期間
令和６年４月８日～５月17日
延日数　45日(45会場)
出勤獣医師延人数　101人

２．実施頭数　5,434頭
(会員報告をもとに事務局集計)

狂犬病予防集合注射実施頭数の推移(平成31年度～令和６年度)

区	令和６年度 春に開催	令和５年度 春に開催	令和４年度 春に開催
期　間	4/8－5/17	4/6－5/24	4/11－5/27
延日数	45日	56日	55日
会場数	45会場	57会場	74会場
延人数	101人	123人	163人
千種	274	217	358
東	180	176	132
北	525	579	567
西	356	391	472
中村	408	418	460
中	259	272	226
昭和	170	212	233
瑞穂	285	313	245
熱田	122	114	179
中川	362	446	475
港	659	624	599
南	388	409	388
守山	422	356	322
緑	559	640	566
名東	227	214	229
天白	238	298	339
計	5,434	5,679	5,790

区	令和３年度 延期して秋に開催	令和２年度 途中で中止	平成31年度 （令和元年度）
期　間	9/27 － 10/29	4/3 － 4/7（～ 5/14）	4/11 － 4/25
延日数	24日	11日（87日）	95日
会場数	50会場	22会場（159会場）	183会場
延人数	146人	23人（193人）	201人
千種	145	0	1,023
東	94	302	427
北	241	314	1,287
西	153	0	971
中村	156	0	1,026
中	86	0	455
昭和	117	414	412
瑞穂	111	0	667
熱田	66	0	398
中川	233	0	1,687
港	313	319	1,372
南	213	0	1,200
守山	206	0	1,101
緑	266	243	1,483
名東	89	0	810
天白	118	0	733
計	2,607	1,592	15,052

令和６年度 学校飼育動物委員会活動実績

学校飼育動物委員会

2024年10月２日　昭和区・鶴舞小学校にて名古屋市人とペットの共生サポートセンターと協力の下、犬の「動物ふれあい教室」を開催しました。

令和６年度 名古屋夜間動物救急センター報告

夜間診療所委員会

今年度の名古屋夜間動物救急センターでは獣医師不足により、夜間診療所委員会ならびに獣医師会会員の有志の先生方には、大変ご迷惑とご協力いただきました。心より、感謝申し上げます。現在では、常勤獣医師は２名に戻り、また非常勤獣医師および愛玩動物看護師のスタッフの皆様にもいつも尽力いただきながら、運営できている状況です。引き続き、常勤および非常勤ともに随時募集中ですので、先生方の周りに救急診療を志す、または経験したいという方がおりましたら、ぜひ当センターまでご紹介いただきますと幸いです。引き続き、名古屋夜間動物救急センターを宜しくお願い申し上げます。

公益社団法人名古屋市獣医師会名古屋夜間動物救急センターにおける令和５年度(令和５年４月１日～令和６年３月31日)の来院状況集計

総来院件数　3411

表１．動物種の内訳　(匹)

犬	小型犬	2021
	中型犬	208
	大型犬	117
	合　計	2346
猫		849
エキゾチック	ウサギ	207
	ハムスター	4
	鳥　類	4
	フェレット	0
	その他	1
	合　計	216

表２．年齢層の内訳　(匹)

犬	１歳未満	311
	１～４歳	605
	５～８歳	396
	９歳以上	1031
	年齢不詳	3
	合　　計	2346
猫	１歳未満	159
	１～４歳	252
	５～８歳	147
	９歳以上	281
	年齢不詳	10
	合　　計	849

表３．疾病分類　(匹)

消化器系	787
神経系	431
筋骨格系	111
不定愁訴	173
泌尿生殖器系	252
皮膚科	66
呼吸器系	189
緊急疾患	278
眼科	68
中毒	32
代謝疾患	7
免疫系	44
循環器系	101
内分泌系	20
感染症	33
血液疾患	12
腫瘍	35
その他	65
誤食	466
外傷	241

表４．曜日毎来院数の内訳 (匹)

月	481
火	460
水	475
木	466
金	450
土	493
日	586

表５．曜日毎平均来院数の内訳 (匹)

月	9.3
火	8.8
水	9.1
木	9.0
金	8.7
土	9.5
日	11.3
平均	9.4

表６．月毎の来院件数 (匹)

2022.4	308
2022.5	272
2022.6	268
2022.7	309
2022.8	320
2022.9	263
2022.10	293
2022.11	279
2022.12	298
2023.1	306
2023.2	250
2023.3	245

表７．来院時間の内訳 (匹)

19～ 20時	0
20～ 21時	196
21～ 22時	871
22～ 23時	829
23～ 0時	705
0 ～ 1時	524
1 ～ 2時	286
2時以降	0

表８．来院地域の内訳 (匹)

名古屋市内	1951
愛知県	1068
愛知県外	392

表９．名古屋市内の来院内訳 (匹)

昭和区	84
天白区	110
千種区	88
名東区	69
瑞穂区	89
守山区	27
緑区	136
東区	73
北区	83
熱田区	94
西区	118
南区	123
港区	181
中村区	155
中区	233
中川区	288

表10. 来院患者の内訳 (匹)

A	1110
B	675
C	166
D	1460

A：名古屋市在住で名古屋市獣医師会員病院が主治医の患者
B：名古屋市在住で非会員病院が主治医の患者
C：名古屋市在住で特に主治医のいない患者
D：名古屋市外在住の患者

令和６年度 学術委員活動報告

学術委員会

学術委員会では、会員獣医師や看護師の獣医療技術向上のため卒後教育セミナーや国内外の学術誌を購読し会員が獣医学情報を入手しやすい環境を整備しています。また、人獣共通感染症調査事業と傷病野生鳥獣保護事業を名古屋市から委託されています。市民の公衆衛生の維持を目的とした令和５年度の人獣共通感染症調査は「名古屋市の猫における原虫（トキソプラズマ）の抗体価調査」を行いました。傷病野生鳥獣事業は市民が身近な野生動物を保護した場合、取り扱いの相談に協力しております。

令和６年度 学術奨励金事業

学術委員会

会員の学会発表や学術論文投稿など獣医学向上の勤労をたたえ、さらなる努力を奨励するため定められた要綱に従い奨励金を支給いたしました。

	会員名 （敬称略）	題　　名	学術研究団体名	発表日 または刊号、 ページ
1	横田　峻也 （湯木どうぶつ病院）	Immune-mediated hemolytic anemia and pure redcell aplasia in a Jack Russell Terrier during treatment for hypoadrenocorticism	Veterinary clinical Pathology	2024/01/25
2	湯木　正史 （湯木どうぶつ病院）	Comparison of polyclonal and monoclonal antibody assays for serum amyloid A in cats:a study based on an auromated turbidimetric immunoassay in a primary care veterinary hospital	American Journal of Veterinary Research	2024/07/12
3	稲葉　健一 （名古屋みなみ動物病院どうぶつ呼吸器クリニック）	重度のいびきを呈する短頭種気道症候群に対しlaser-assisted turbinectomyおよび軟口蓋肥厚整復術(folded flap palatoplasty変法)を実施フレンチブルドッグの１例	動物臨床医学会	2024/10/06
4	柴田　恵美子 （中郷どうぶつ病院）	腸管壁浸漏を伴ったカンジタ性腹膜炎の猫の１症例	動物臨床医学会	2024/10/05

令和６年度 定期購読雑誌・書籍

学術委員会

下記、雑誌・書籍が閲覧可能です。是非、ご利用下さい。

●雑誌
- Journal of American Veterinary Medical Association（米国獣医師会雑誌）【Print+電子ジャーナル】
- Journal of Small Animal Practice（小動物臨床雑誌）【電子ジャーナル】
- Journal of Veterinary Emergency and Critical Care（獣医救命救急雑誌）【電子ジャーナル】

●商業誌
- SURGEON
- SA Medicine
- As（アズ）

令和６年度 学術セミナー

学術委員会

■学術セミナー（人獣共通感染症）

講師：村田佳輝 先生 （むらた動物病院 院長）

「犬レプトスピラ症アップデート」

日時：令和６年11月15日

■愛玩動物看護師・動物病院スタッフセミナー

『シニアを深ぼる動物看護』

演 題 1

講師：中村陽子 先生 （Pet Care Home HUZUR 代表）

「シニアケア　歩ける×歩けない　運動と介護ケア」

演 題 2

講師：安部里梅 先生 （PET CARE HOME Lyuca 代表）

「歩けない！　寝たきりになったらさてどうする？」

日時：令和７年３月16日

学術委員会

名古屋市の猫における原虫（トキソプラズマ）の抗体価調査

はじめに

トキソプラズマ症は、アピコンプレクサ属の原虫であるトキソプラズマ（*Toxoplasma gondii*）により起こされる感染症である。トキソプラズマはほぼ全ての哺乳類や鳥類に感染する。一度感染すると終生免疫が継続する。感染率は国・地域・年齢によって異なる。感染率には食肉習慣や猫の抗体保有率、衛生状態などが複雑に関連すると考えられる。世界的には、全人類の１/３以上（数十億人）が感染しているとされるなど、非常に広く蔓延していることが知られている[１，２]。日本国内の調査においても、宮崎県の妊婦 4466 人での陽性率は 10.3%、東京都の血液疾患患者 316 人での陽性率は 10.4% であった[３，４]。

免疫機能が正常な人が感染した場合、免疫系の働きにより、臨床症状は顕在化しないか軽度の急性感染症状をもたらす。しかし、免疫が抑制された人には重篤な症状を引き起こすため、十分な注意が必要である。また、妊娠中の人が感染することにより起こる先天性トキソプラズマ症は、死産および自然流産だけではなく視力障害、脳性麻痺など重篤な先天疾患をもたらすことがある[１]。また、近年では、トキソプラズマ抗体価と交通事故率との相関や、攻撃的／衝動的な性格との相関など、トキソプラズマ感染によって人に行動や性格が変化する可能性も示唆されている[５，６]。

このように、トキソプラズマ症は社会的に重要な感染症の１つである。本感染症を制御することは、公衆衛生上、非常に有益と考えられる。

猫は人のトキソプラズマ症の主要な感染経路の１つである。猫を対象にしたトキソプラズマの感染状況はこれまで多く調査されている。1994–1999 年の全国における抗体価検査では陽性率 5.4%、1999–2001 年と 2009–2011 年の東京都動物愛護センターにおける抗体価検査ではそれぞれ陽性率 5.6% と 6.7%、2011–2013 年の沖縄における抗体価検査では陽性率 26.9%、2013–2014 年の北海道十勝地域における抗体価調査では陽性率 16.14%、2013–2017 年の奄美大島における抗体価検査では陽性率 9.0% であった[７，８，９，10，11]。

名古屋市においても 1988 年、1997 年、2013 年に調査され、トキソプラズマ抗体価の陽性率はそれぞれ 8.9%、3.1%、6.3% であった。また、2013 年には PCR 検査も併せて実施しており、陽性率は０% であった[12，13]。PCR 検査は病原体の遺伝子の有無を検出する検査であり、検体採取時における感染の有無を確認するには極めて有用である。その反面、過去に感染歴があるものの、現在は病原体を保有していない個体は検出できない場合がある。また、トキソプラズマはライフサイクルにより出現する組織が異なるため、一部の組織で感染が否定されても全身感染を否定することはできない。このため、PCR 検査は、抗体価検査に比較して陽性率が低くなる傾向がある。感染状況を正しく評価するためには、PCR 検査と抗体価検査の特性を理解しなくてはならない。

今回、血液中のトキソプラズマ抗体価を用いて、名古屋市における猫のトキソプラズマ症

の感染状況を調査した。併せて飼養実態調査（健康状態、飼育環境及び病歴等）も行った。今回の調査によって2023年における名古屋市内の猫のトキソプラズマの感染状況を確認し、過去の結果や他地方の検査と比較することができる。今回の調査結果により、今後、より効果的な人獣共通感染症対策が可能になると考えられる。

材料と方法

1．調査対象

名古屋市内（16区）の各協力病院へ来院した猫161例（飼育猫またはのら猫）を調査対象とした。のら猫については、避妊去勢手術のために来院した個体を調査した。

2．調査期間

令和5年10月24日～令和6年1月12日

3．検査材料

血清0.1mL

4．検査委託先

岐阜大学 応用生物科学部 共同獣医学科 人獣共通感染症学研究室

5．検査方法

抗体検査は、組換え抗原蛋白質を用いたELISA（*enzyme-linked immunosorbent assay*）によって実施した[14]。すなわち、大腸菌で発現させたトキソプラズマGRA7抗原蛋白質をELISAプレートに固着させ、これに3％スキムミルク入りPBSで200倍希釈した血清を100μl加え、1時間反応させた。洗浄後、西洋ワサビペルオキシダーゼ付加2次抗体を反応させ、洗浄後、基質液（ABTS溶液）を加えた。37℃で30分反応後、色調の変化をプレートリーダーで数値化しELISA値とした。なお、陰性検体のうち10検体をランダムに選抜し、そのELISA値の平均値に標準偏差を3倍し加えた数値をカットオフ値（今回は0.6）とし、これよりも高いELISA値を示した検体を陽性と判定した。

6．調査対象飼育猫、のら猫の環境調査

調査対象となる飼育猫について、以下の項目の調査を実施した。

〈飼育猫〉

⑴個体情報

①品種

②性別　□オス　□メス　□去勢オス　□避妊メス

③年齢　　歳　　ヵ月

④入手先

□ブリーダーより購入　□ペットショップより購入

□一般家庭で繁殖した個体を譲り受け　□保護猫シェルター、愛護センターより譲渡

□不明

⑤駆虫薬の投与　□有（最近投薬日　　年　　月）□無　□不明

⑥混合ワクチン接種　□有（最近接種日　　年　　月）□無　□不明

⑦便の状態　□良便　□下痢便

⑧来院理由　（　　）

⑨その他の既往歴　□なし　□あり（　　）

⑵飼育状況

①飼育場所　　□完全室内飼育

②食餌内容　　□ドライフード　□缶詰・パウチ　□ドライフードと缶詰・パウチ
□その他

③同居の動物　□犬　　□猫　　□犬と猫　　□その他　□同居動物なし

⑶飼育者の住居

①住居区（名古屋市　　区）

②住居（□一戸建　□マンション・アパート　□その他）

⑷飼育者と飼育動物との関係（これまで経験のあるものを回答）

①飼育動物に咬まれる

□有　　□無

②飼育動物と同じ箸やスプーンを使って食事をする、キスをする

□有　　□無

③飼育動物の糞便を処理した後、手を洗わないことがある

□有　　□無

④飼育動物と同じ寝具で眠る

□有　　□無

調査対象となるのら猫について、以下の項目の調査を実施した。

〈のら猫〉

⑴個体情報

①品種

②性別　□オス　□メス

③おおよその年齢　　歳　　ヵ月

④便の状態　□良便　□下痢便

⑵保護者の住居

①住居区（名古屋市　　区）

7．データ解析

対象症例を飼育環境により飼育猫群とのら猫群に分けて、2群間の性別、中性化（避妊、去勢の実施）、年齢、便の状態を比較した。2区分変数は、x2検定もしくはフィッシャーの正確確率検定を行い、連続変数は、マン・ホイットニーのU検定を行った。次いで、トキソプラズマ抗体の陽性率に寄与する因子を特定するために、単変量解析を行なった。年齢は、連続変数に加え、階層化して評価した。各因子は、2区分変数ではx2検定もしくはフィッシャーの正確確率検定を行い、連続変数では単変量ロジスティック回帰分析を行った。多変量解析は、単変量解析で$p<0.20$を示す因子に交絡因子と考えられる飼育環境を加えてロジスティック回帰分析を行った。検討したいずれの因子もオッズ比およびその95%信頼区間を算出した。

また、年齢と陽性率については相関分析を行った。相関係数は、0～0.3未満であればほぼ無関係、0.3～0.5未満であれば非常に弱い相関、0.5～0.7未満であれば相関がある、0.7～0.9未満であれば強い相関、0.9以上であれば非常に強い相関があるとみなした。

結　果

調査例数

調査対象の内訳は、飼育猫 126 例、のら猫 35 例であった（表１）。

表１．室内猫とのら猫の特徴の比較

項目		飼育猫（n=126）		のら猫（n=35）		p値
		割合、中央値（範囲）	症例数	割合、中央値（範囲）	症例数	
性別	雌	44.4%	126	48.6%	35	0.664*
	雄	55.6%		51.4%		
中性化	避妊・去勢	69.8%	126	5.7%	35	<0.001*
年齢		4.5歳（0.3－20歳）	120	1.0歳（0.4－7歳）	30	<0.001*
便の状態	下痢便	3.4%	118	5.9%	17	0.495

＊：p<0.05

個体情報

飼育猫及びのら猫の品種、性別、年齢、便の状態は以下の通りであった。

●品種

飼育猫では雑種 66 例、日本猫５例、ペルシャ５例、メインクーン４例、マンチカン３例、スコティッシュ・フォールド２例、ロシアンブルー２例、アビシニアン１例、アメリカン・ショートヘア１例、オシキャット１例、ソマリ１例、ノルウェージャン・フォレスト・キャット１例、ブリティッシュ・ショートヘア１例、ベンガル１例、ラグドール１例であった。31 例は不明であった。

のら猫では雑種 27 例であった。８例は不明であった。

●性別

飼育猫では雄 70 例（去勢済 50 例）、雌 56 例（避妊済 38 例）であった。のら猫では雄 18 例、雌 17 例（避妊済２例）であった。雌雄の割合については飼育猫、のら猫の間で有意差は認められなかったが、中性化（避妊／去勢済）された猫の割合は飼育猫が有意に高かった（表１）。

●年齢

調査全体における平均年齢は 3.0 歳だった。飼育猫の平均年齢は 4.5 歳であり、0－3 歳が 58 例、４－７歳が 14 例、８-11 歳が 18 例、12-15 歳が 22 例、16 歳以上が８例、不明が６例であった。のら猫の平均年齢は 1.0 歳であり、０－３歳が 25 例、４－７歳が５例、不明が５例であった。平均年齢はのら猫に比べ、飼育猫で有意に高かった（表１）。

●便の状態

飼育猫では良便が 115 例、下痢便が４例、不明が７例であった。のら猫では良便が 16 例、下痢便が１例、不明が 18 例であった。下痢の発症率について飼育猫とのら猫で有意差は認められなかった（表１）。

飼育猫の入手先、駆虫薬投与の有無、混合ワクチン接種の有無、来院理由、その他の既往歴については以下の通りであった。

●入手先

保護猫シェルター・愛護センターより譲渡されたのが 32 例、一般家庭で繁殖した個体を譲り受けたのが 18 例、ペットショップが 15 例、保護が 12 例、ブリーダーが 11 例、不明が 38 例であった。

●駆虫薬の投与
　投与歴有が 55 例、投与歴無が 52 例、不明が 19 例であった。
●混合ワクチン接種
　接種歴有が 44 例、接種歴無が 44 例、不明が 38 例であった。
●来院理由
　去勢手術が 20 例、避妊手術が 15 例、健康診断が 31 例、ワクチン接種が 9 例、何らかの症状有が 43 例、不明が 8 例であった。
●その他の既往歴
　主な既往歴なしが 83 例、既往歴有が 34 例、不明が 9 例であった。

飼育猫の飼育場所、食事内容、同居動物、住居については以下の通りであった。
●飼育場所
　室内飼育が 122 例、屋外飼育が 0 例、不明が 4 例であった。
●食餌内容
　ドライフードが 65 例、缶詰・パウチが 5 例、ドライフードと缶詰・パウチが 54 例、不明が 2 例であった。
●同居の動物
　同居動物あり 44 例、同居動物なし 44 頭、不明 38 頭であった。
●住居
　一戸建 62 例、マンション・アパートが 57 例、その他が 5 例、不明が 2 例であった。

飼育猫と飼育者との関係については以下の通りであった。
●飼育動物に咬まれる
　有が 35 例、無が 89 例、不明が 2 例であった。
●飼育動物と同じ箸やスプーンを使って食事をする、キスをする
　有が 12 例、無が 112 例、不明が 2 例であった。
●飼育動物の糞便を処理した後、手を洗わないことがある
　有が 12 例、無が 112 例、不明が 2 例であった。
●飼育動物と同じ寝具で眠る
　有が 68 例、無が 56 例、不明が 2 例であった。

トキソプラズマ抗体の調査結果（全体）

今回のトキソプラズマ感染症の抗体価調査について、調査対象の猫全てに関し、陽性個体は 32 例、陰性個体は 129 例、陽性率は 19.9% であった。性別については、雌の陽性率は 26.0%、雄の陽性率は 14.8% であり、雌の陽性率が多変量解析において有意に高かった。中性化された猫の陽性率は 26.7%、中性化されていない猫の陽性率は 11.3% であり、中性化された猫の陽性率が単変量解析で有意に高かった。0－3 歳の陽性率は 9.6%、4－7 歳の陽性率は 26.3%、8-11 歳の陽性率は 33.3%、12-15 歳の陽性率は 31.8%、16-20 歳の陽性率は 62.5% であった。0－3 歳に対し、8-11 歳、12-15 歳、16-20 歳は有意に陽性率が高かった。便の状態については、良便の陽性率が 20.8%、下痢の陽性率が 0％であり、両者に有意差は認められなかった。なお、飼育猫の陽性率は 20.6%、のら猫の陽性率は 17.1% であり、両者に有意差は認められなかった。（表２）。

表２．猫 161 例におけるトキソプラズマ抗体価陽性に関連する因子

項目		全体n=161（陽性32、陽性率19.9%）								
		症例数	陽性数	陽性率	単変量解析			多変量解析		
					オッズ比	95%信頼区間	p値	オッズ比	95%信頼区間	p値
飼育環境	のら猫	35	6	17.1%	0.80	0.30–2.12	0.647	3.00	0.62–14.45	0.170
	飼育猫	126	26	20.6%						
性別	雌	73	19	26.0%	2.03	0.92–4.46	0.075	2.42	1.02–5.73	0.045*
	雄	88	13	14.8%						
中性化	避妊・去勢	90	24	26.7%	2.86	1.20–6.85	0.015*	3.17	0.78–12.93	0.108
	なし	71	8	11.3%						
年齢	中央値:3.0歳	–	–	–	1.14	1.06–1.21	<0.001*	1.12	1.02–1.22	0.012*
	0–3歳	83	8	9.6%	1.00	–	–	–	–	–
	4–7歳	19	5	26.3%	3.35	0.95–11.74	0.059	–	–	–
	8–11歳	18	6	33.3%	4.69	1.38–15.90	0.013†	–	–	–
	12–15歳	22	7	31.8%	4.39	1.38–13.90	0.012†	–	–	–
	16歳–	8	5	62.5%	15.63	3.13–77.88	0.001†	–	–	–
	不明	11	1	9.1%	–	–	–	–	–	–
便の状態	下痢便	5	0	0.0%	0.34	0.09–6.81	0.322	–	–	–
	良便	130	27	20.8%				–	–	–
	不明	26	5	19.2%	–	–	–	–	–	–

*：p<0.05、†：p<0.05（年齢０–３歳を対照として有意）

トキソプラズマ抗体の調査結果（飼育猫）

飼育猫に関し、性別については、雌の陽性率は 28.6%、雄の陽性率は 14.3% であり、雌の陽性率が有意に高かった。中性化された猫の陽性率は 27.3%、中性化されていない猫の陽性率は 5.3% であり、中性化された猫の陽性率が有意に高かった。駆虫薬投与歴の有無については、投与歴有の猫の陽性率は 22.4%、投与歴無の猫の陽性率は 19.2% であり、両者に有意差は認められなかった。ワクチン接種歴については、接種歴有の猫の陽性率は 15.9%、接種歴無の猫の陽性率は 20.5% であり、両者に有意差は認められなかった。同居動物の有無については、同居動物有の猫の陽性率は 15.9%、同居動物無の猫の陽性率は 20.5% であり、両者に有意差は認められなかった（表３）。

表３．飼育猫 126 例におけるトキソプラズマ抗体価陽性に関連する因子

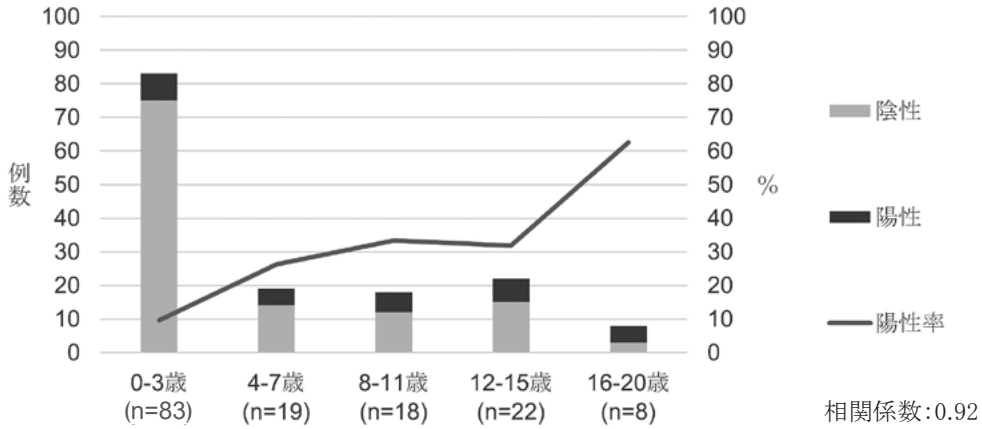
		飼育猫n=126（陽性26、陽性率20.6%）					
		症例数	陽性数	陽性率	単変量解析		
					オッズ比	95%信頼区間	p値
性別	雌	56	16	28.6%	2.4	0.99–5.82	0.049*
	雄	70	10	14.3%			
中性化	避妊・去勢	88	24	27.3%	6.75	1.51–30.23	0.015*
	なし	38	2	5.3%			
駆虫薬	あり	58	13	22.4%	1.21	0.48–3.06	0.682
	なし	52	10	19.2%			
	不明	16	3	18.8%			
ワクチン歴	あり	44	7	15.9%	0.74	0.25–2.19	0.580
	なし	44	9	20.5%			
	不明	38	10	26.3%			
同居動物	あり	44	7	15.9%	0.74	0.25–2.19	0.580
	なし	44	9	20.5%			
	不明	38	10	26.3%			

*：p<0.05

年齢とトキソプラズマ抗体価陽性率の相関性

調査された全ての猫について、年齢による陽性率を（図１）に示す。相関係数は 0.92 であり、年齢と陽性率の間には非常に強い相関性が認められた。

図１．年齢とトキソプラズマ抗体価の陽性率



考　　察

今回のトキソプラズマ抗体価の調査において、陽性率は 19.9% であった。過去に行われた調査では、全国で 5.4%、東京都で 5.6% と 6.7%、沖縄県で 26.9%、北海道で 16.14%、鹿児島県で 9.0% であった[７，８，９，10, 11]。名古屋市では 8.9%、3.1%、6.3% であった[11, 12]。今回の調査における陽性率は、他都道府県の調査に比べても高かった。また、過去の名古屋市の調査に比べ陽性率は非常に高かった。名古屋市における過去の調査は 1988 年、1997 年、2013 年に行われている。なお、2013 年の調査対象全体の平均年齢は 2.5 歳なのに対し、本調査では 3.0 歳であった。平均年齢にほとんど差がないにもかかわらず、陽性率が高かった理由は不明である。感染状況を確認するためにも、今後も継続的に調査していく必要があると考えられる。

調査対象の猫の品種に関しては、雑種が多く、全体の 76.2% であった。日本全国で飼育されている猫 1996 例の品種を調査したところ、雑種が 59.2% であったとされる[15]。今回の結果では、全国平均に比べて雑種の比率が高かった。他の報告に比べて陽性率が高い要因であるのかは分からないものの、今後も調査していく必要があると思われる。

調査した猫の性別については、飼育猫では雄 70 例（去勢済 50 例）、雌 56 例（避妊済 38 例）であった。のら猫では雄 18 例、雌 17 例（避妊済２例）であった。雌雄の割合については飼育猫、のら猫の間で有意差は認められなかったが、中性化（避妊／去勢済）された猫の割合は飼育猫が有意に高かった。トキソプラズマ抗体価については、雄全体で 14.8%、雌全体で 26.0% であった。飼育猫の雄で 14.3%、飼育猫の雌で 28.6% であった。のら猫の雄で 16.7%、のら猫の雌で 17.6% であった。中性化された猫の陽性率は 26.7%、中性化されていない猫の陽性率は 11.3% であり、中性化された猫の陽性率が有意に高かった。調査対象全体と飼育猫において、雌で有意に陽性率が高かった。有意差が認められた要因は不明であり、今後の検討課題と思われる。なお、中性化された猫の陽性率が有意に高かった理由は、平均年齢が高いためと考えられる。

年齢については、調査全体における平均年齢は 3.0 歳だった。飼育猫の平均年齢は 4.5 歳で

あり、0－3歳が58例、4－7歳が14例、8－11歳が18例、12-15歳が22例、16歳以上が8例、不明が6例であった。のら猫の平均年齢は1.0歳であり、0－3歳が25例、4－7歳が5例、不明が5例であった。平均年齢はのら猫に比べ、飼育猫で有意に高かった。来院理由にも関連するが、本調査では、特にのら猫について、不妊手術のために来院した猫を調査対象とした。このため、若齢の個体が多く含まれており、年齢が不明な個体を除いた全例が8才未満であった。年齢と陽性率を解析したところ、非常に強い正の相関性（相関係数：0.92）が認められた。猫においてトキソプラズマは終生感染する病原体であり、病原体は一生体内に存在する。このため、一度感染した個体は終生、抗体検査で陽性となる。猫の生存期間が長くなるほど原虫に感染する機会は増えると予想されるため、本結果は妥当なものと考えられる。感染経路やオーシストの排出状況など、今後も詳しく調査するべきかもしれない。

また、飼育猫の陽性率が20.6%であったのに対し、のら猫では17.1%であった。野生動物を捕食する機会が多く、感染リスクが高いと思われるのら猫で陽性率が低かった要因として、調査対象の猫の年齢が低かった点が考えられる。高齢ののら猫の調査は極めて困難と思われるが、調査を行うべきかもしれない。今後の検討課題である。

便の状態については、飼育猫では良便が115例、下痢便が4例、不明が7例であった。のら猫では良便が16例、下痢便が1例、不明が18例であった。トキソプラズマ感染症の症状として、感染初期に下痢が起きる事が知られているが、その頻度は稀とされている[16]。本調査においても、下痢の症状を示した個体における陽性率は0％であった。猫において、消化器症状とトキソプラズマ感染症は必ずしも相関せず、臨床症状からトキソプラズマ感染症を予測するのは困難と思われる。

飼育猫の入手先については、保護猫シェルター・愛護センターより譲渡されたのが32例、一般家庭で繁殖した個体を譲り受けたのが18例、ペットショップが15例、保護が12例、ブリーダーが11例、不明が38例であった。データは示していないが、ブリーダー／ペットショップ／知人宅で出生した個体の陽性率が15.9%、保護猫／入手経路不明の個体の陽性率が23.8%であった。両者に有意差は認められず、入手経路による陽性率には差がないと推察される。

飼育猫の駆虫薬の投与に関しては、投与歴有が55例、投与歴無が52例、不明が19例であった。投与歴有の猫の陽性率は22.4%、投与歴無の猫の陽性率は19.2%であり、両者に有意差は認められなかった。今回調査した駆虫薬はノミ／ダニに関する駆虫薬であり、トキソプラズマ感染症とは関連しない。しかしながら、ノミ／ダニが媒介する人獣共通感染症を予防するために、愛玩動物に対し、駆虫薬の使用が推奨されている[17]。今回の調査から、駆虫薬投与がそれほど広く行われていないことが明らかとなった。筆者は臨床獣医師であるが、完全室内飼育の猫においても、ノミ／ダニが感染している症例に遭遇することがある。今後、さらなる駆虫薬投与を推進し、かつ、人獣共通感染症であるトキソプラズマ感染症に関しても、獣医師はオーナーを啓蒙していく必要がある。

飼育猫の混合ワクチン接種については、ワクチンあり44例、ワクチンなし44頭、不明38頭であった。接種歴有の猫の陽性率は15.9%、接種歴無の猫の陽性率は20.5%であり、両者に有意差は認められなかった。一般的な猫のワクチンはトキソプラズマ感染症を予防するものではなく、本調査とは直接関連しない。しかしながら、ワクチン接種は感染症予防の基本であり、可能な限り接種率を高めていく必要があると考えられる。

飼育猫の来院理由については、去勢手術が20例、避妊手術が15例、健康診断が31例、ワクチン接種が9例、何らかの症状有が43例、不明が8例であった。一般的に、不妊手術は若齢の動物が対象となる場合が多い。今回の調査では、飼育猫について、不妊手術以外で来院した猫の検体を多く採取することができた。このため、調査対象動物の平均的な年齢が上がり、陽性率が高くなった可能性がある。

飼育猫の飼育場所については、室内飼育が 122 例、屋外飼育が 0 例、不明が 4 例であった。本調査では、大半の個体が室内で飼育されていた。室内飼育の場合、野生動物を捕食する機会は極めて少ないと考えられる。しかしながら、今回の調査結果では飼育猫において高い陽性率が示された。本調査における選択項目として、「室内飼育」という項目を設定した。しかし、これは適切ではなく、「完全室内飼育」、「主に室内で飼育されている（たまに外出する）」と設定するべきであった。

飼育猫の食餌内容については、ドライフードが 65 例、缶詰・パウチが 5 例、ドライフードと缶詰・パウチが 54 例、不明が 2 例であった。トキソプラズマの感染経路の一つとして、生肉の摂取が挙げられる。本調査においても、高い陽性率の理由を検討するために、生肉の給餌経験についても調査するべきであった。

飼育猫の同居動物については、同居動物あり 44 例、同居動物なし 44 頭、不明 38 頭であった。同居動物有の猫の陽性率は 15.9%、同居動物無の猫の陽性率は 20.5% であり、両者に有意差は認められなかった。しかしながら、感染拡大を防ぐために、陽性個体と同居している動物がいるオーナーに対しては注意喚起が必要と思われる。

飼育猫のオーナーの住居については、一戸建 62 例、マンション・アパートが 57 例、その他が 5 例、不明が 2 例であった。飼育場所の調査では、大半が室内飼育との事であった。しかしながら、室外に出ていくことがあるのか、出ていく頻度はどのくらいであるのかも併せて調査するべきであった。

飼育猫と飼育者との関係については、オーナーが飼育動物に咬まれる経験は、有 35 例、無が 89 例、不明が 2 例であった。飼育動物と同じ箸やスプーンを使って食事をする・キスをする経験は、有が 12 例、無が 112 例、不明が 2 例であった。飼育動物の糞便を処理した後に手を洗わないことがある経験は、有が 12 例、無が 112 例、不明が 2 例であった。飼育動物と同じ寝具で眠る経験が、有が 68 例、無が 56 例、不明が 2 例であった。トキソプラズマに感染した猫が糞便中にオーシストを排出するのは初感染の時が最も多いが、２回目以降の感染時も排出される場合があり、糞便中に排出されたオーシストは排出 24 時間後から感染力を持つことが知られている[16]。また、感染歴のない妊婦が感染すると、流産や奇形の原因となるため、注意が必要である[１]。トキソプラズマ感染症を含め、オーナーが人獣共通感染症に感染しないためには、飼育動物と適切な距離を保つこと、接触後に手洗いをすることなどを啓蒙していく必要がある。

結論として、今回のトキソプラズマ感染症の抗体価調査について、陽性個体は 32 例、陰性個体は 129 例、陽性率は 19.9% であった。平均年齢は、のら猫に比べ飼育猫が有意に高かった。調査対象全体および飼育猫において、雄に比べ雌で有意に陽性率が高かった。中性化手術済みの猫の陽性率も有意に高かった。また、年齢と陽性率には、非常に強い正の相関性が認められた。感染経路を推定するために、給餌内容や飼育方法などについて、今後詳細な調査が必要と考えられる。人における人獣共通感染症を防ぐために、トキソプラズマ感染症をはじめとした人獣共通感染症について広く知ってもらうとともに、猫を外出させないこと、飼育動物と適切な距離を保つことなどを啓蒙しなくてはならない。

参考文献

［1］川名尚、小島俊行：母子感染　金原出版　2011.
［2］Dubey, J.P. The history and life cycle of Toxoplasma gondii. in: Toxoplasma gondii（Weiss, L.M. and Kim, K. ed.）, Academic Press, 2007.
［3］Sakikawa et al. Anti-Toxoplasma Antibody Prevalence, Primary Infection Rate, and Risk Factors in a Study of Toxoplasmosis in 4,466 Pregnant Women in Japan. Clin Vaccine Immunol. 2012. 19：365–367.
［4］Mori et al. Seroprevalence of Toxoplasma gondii among Japanese adults with hematological diseases. Int J Hematol. 2020. 112：755–756.
［5］Flegr et al. Increased risk of traffic accidents in subjects with latent toxoplasmosis：a retrospective case-control study. BMC Infect Dis. 2002. 2：11.
［6］Coccaro et al. Toxoplasma gondii infection: relationship with aggression in psychiatric subjects. J Clin Psychiatry. 2016. 77: 334–341.
［7］Maruyama et al. Seroprevalence of Bartonella henselae, Toxoplasma gondii, FIV and FeLV infections in domestic cats in Japan. Microbiol Immunol. 2003. 47：147–153.
［8］Oi et al. Comparison of Toxoplasma gondii Seroprevalence in Shelter Cats and Dogs during 1999–2001 and 2009–2011 in Tokyo, Japan. PLoS One. 2015. 10（8）：e0135956.
［9］Matsuu et al. Seroprevalence of Toxoplasma gondii in free-ranging and feral cats on Amami Oshima Island, Japan. J Vet Med Sci. 2017. 79：1853–1856.
［10］Salman et al. Prevalence of Toxoplasma gondii and other intestinal parasites in cats in Tokachi sub-prefecture, Japan. J Vet Med Sci. 2018. 80：960–967.
［11］Kyan et al. Toxoplasma gondii antibody prevalence and isolation in free-ranging cats in Okinawa, Japan. J Vet Med Sci. 2021. 83：1303–1305.
［12］名古屋市、名古屋市獣医師会、飼猫のトキソプラズマ抗体保有率調査、平成９年度人畜共通感染症委託調査事業　平成 10 年３月
［13］名古屋市、名古屋市獣医師会、名古屋市内の飼育猫のトキソプラズマ感染症調査　－血清抗体価検査と糞便 PCR 検査を用いた名古屋市内の飼育猫の感染状況の推察－、平成 25 年度人畜共通感染症委託調査事業　平成 26 年３月
［14］Terkawi et al. Development of an immunochromatographic assay based on dense granule protein 7 for serological detection of Toxoplasma gondii infection. Clin Vaccine Immunol. 2013. 20：596–601.
［15］アイリスオーヤマ HP　猫の国勢調査 2018. https://www.irisplaza.co.jp/media/A13921235341
［16］Ettinger et al. Textbook of Veterinary Internal Medicine. 9th ed. 2024. 1033–1034.
［17］厚生労働省　愛玩動物の衛生管理の徹底に関するガイドライン　2006.

謝　　辞

今回の調査にあたり、血清中トキソプラズマ抗体価の測定にご協力いただきました、岐阜大学応用生物科学部共同獣医学科人獣共通感染症学研究室の正谷達謄准教授に深く御礼申し上げます。ありがとうございました。

令和５年度 傷病野生鳥獣保護活動集計

学術委員会

■傷病の状況・結果別保護件数

令和５年４月～令和６年３月

	傷病の状況							結果				
	衝突・転落	病気	骨折	咬傷・外傷	衰弱	その他	合計	放鳥	死亡	保護	不明	合計
令和５年 ４月	1	3			2	2	8	3	3	1	1	8
５月	1	2	2	3		2	10	2	1	2	5	10
６月	1		2	1	6	3	13	6	3		4	13
７月	1	1	2	1	2	1	8		1	3	4	8
８月	1				2	1	4	1			3	4
９月	2		1				3		1		2	3
10月	1		1	1	1		4		1	1	2	4
11月			2	3			5	2		1	2	5
12月	1		1	1	3	1	7	2	1	1	3	7
令和６年 １月	1			1	3	1	6			3	3	6
２月						2	2	1			1	2
３月		1	1	1	1		4	1			3	4
合　計	10	7	12	12	20	13	74	18	11	12	33	74

■種類別保護件数

令和５年４月～令和６年３月

	令和５年									令和６年			合計
	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月	
アオバト		2					1	2					**5**
ウグイス							1						**1**
カモ	1												**1**
カラス	1			2				1			1	1	**6**
カルガモ		1	1										**2**
カワウ	1		1										**2**
カワラヒワ			1										**1**
キジバト	1					1				1			**3**
クロツグミ						1							**1**
コノハズク		1											**1**
スズメ		2	4	3	2					2			**13**
チョウゲンボウ			1										**1**
ドバト	1	2	1	1		1		1	4	3	1	3	**18**
ヒヨドリ					2			1					**3**
ミミズク				1									**1**
メボソムシクイ							1						**1**
不明鳥		1	1										**2**
アライグマ									1				**1**
イタチ							1						**1**
アカミミガメ	1	1	2										**4**
クサガメ	1		1						1				**3**
ニホンイシガメ				1									**1**
ヤモリ	1								1				**2**
合　計	8	10	13	8	4	3	4	5	7	6	2	4	**74**

令和５年度 テレフォンドクター集計結果報告書

動物愛護事業委員会

1．開設日数 46 日

2．動物種別相談件数

	犬	猫	飼鳥	野鳥	エキゾチック	その他	合計
件数	50	24	2	0	2	0	78

3．エキゾチックアニマルの相談件数

ウサギ	ハムスター	リス	カメ	モルモット	フェレット	ﾌﾟﾚｰﾘｰﾄﾞｯｸ	金魚
2	0	0	0	0	0	0	0
イグアナ	アライグマ	サル	リスザル	コウモリ	モモンガ	ワラビー	ハリネズミ
0	0	0	0	0	0	0	0
スカンク	イタチ	ｳｰﾊﾟｰﾙｰﾊﾟｰ	カエル	ﾌｸﾛｷﾂﾈ	魚	カブトムシ	チンチラ
0	0	0	0	0	0	0	0
タヌキ	トカゲ	ヘビ	ネズミ	その他	不明	合計	
0	0	0	0	0	0	2	

4．相談者の住所別調査

	名古屋市内	県内(市内除く)	近隣地区	遠隔地区	不明	合計
犬	34	9	0	5	2	50
猫	11	6	1	4	2	24
飼鳥	2	0	0	0	0	2
野鳥	0	0	0	0	0	0
エキゾチック	2	0	0	0	0	2
その他	0	0	0	0	0	0
合計	49	15	1	9	4	78

近隣地区…岐阜、三重、静岡、長野、滋賀、福井

5．名古屋市内16区別の相談件数

	千種	東	北	西	中村	中	昭和	瑞穂	熱田
犬	3	1	1	1	12	3	1	2	0
猫	0	0	0	0	1	1	0	0	0
飼鳥	0	0	0	0	0	0	0	0	0
野鳥	0	0	0	0	0	0	0	0	0
エキゾチック	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	3	1	1	1	13	4	1	2	0

	中川	港	南	守山	緑	天白	名東	不明	合計
犬	2	0	1	0	3	0	0	4	34
猫	0	1	0	2	0	1	3	2	11
飼鳥	1	0	0	0	1	0	0	0	2
野鳥	0	0	0	0	0	0	0	0	0
エキゾチック	0	0	0	0	2	0	0	0	2
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	3	1	1	2	6	1	3	6	49

6．愛知県内(市内除く)、近隣地区

	愛知	岐阜	三重	静岡	長野	滋賀	合計
犬	9	0	0	0	0	0	9
猫	6	0	1	0	0	0	7
飼鳥	0	0	0	0	0	0	0
野鳥	0	0	0	0	0	0	0
エキゾチック	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
合計	15	0	1	0	0	0	16

7．遠隔地からの相談件数

	北海道	青森	岩手	宮城	秋田	山形	福島	茨城	栃木
犬	0	0	0	0	0	0	0	0	0
猫	0	0	0	0	0	0	0	0	0
飼鳥	0	0	0	0	0	0	0	0	0
野鳥	0	0	0	0	0	0	0	0	0
エキゾチック	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0

	群馬	埼玉	千葉	東京	神奈川	山梨	新潟	富山	石川
犬	0	0	1	0	0	0	0	0	0
猫	0	0	0	0	1	0	0	0	0
飼鳥	0	0	0	0	0	0	0	0	0
野鳥	0	0	0	0	0	0	0	0	0
エキゾチック	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	1	0	1	0	0	0	0

	福井	京都	大阪	兵庫	奈良	和歌山	鳥取	島根	岡山
犬	0	0	0	0	4	0	0	0	0
猫	0	0	2	1	0	0	0	0	0
飼鳥	0	0	0	0	0	0	0	0	0
野鳥	0	0	0	0	0	0	0	0	0
エキゾチック	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	2	1	4	0	0	0	0

	広島	山口	徳島	香川	愛媛	高知	福岡	佐賀	長崎
犬	0	0	0	0	0	0	0	0	0
猫	0	0	0	0	0	0	0	0	0
飼鳥	0	0	0	0	0	0	0	0	0
野鳥	0	0	0	0	0	0	0	0	0
エキゾチック	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0

	熊本	大分	宮崎	鹿児島	沖縄	アジア	アメリカ	その他の国	合計
犬	0	0	0	0	0	0	0	0	5
猫	0	0	0	0	0	0	0	0	4
飼鳥	0	0	0	0	0	0	0	0	0
野鳥	0	0	0	0	0	0	0	0	0
エキゾチック	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	9

8．相談内容と内訳

	治療相談	一般知識	避妊・去勢	伝染病予防	行政関係	その他	合計
犬	31	10	0	0	1	0	42
猫	15	5	0	0	1	0	21
合計	46	15	0	0	2	0	63

9．治療相談の内容と内訳

	内　科						
	消化	循環	呼吸	泌尿	生殖	眼	歯・口腔
犬	10	4	2	4	2	2	1
猫	4	3	3	1	1	0	0
合計	14	7	5	5	3	2	1

	内　科						合計
	耳鼻	皮膚・爪	神経	内部寄生虫	外部寄生虫	その他	
犬	0	3	2	0	0	10	40
猫	3	0	1	0	0	2	18
合計	3	3	3	0	0	12	58

	外　科				合計
	外傷	骨折	捻挫	その他	
犬	0	0	0	1	1
猫	0	1	0	0	1
合計	0	1	0	1	2

	人獣共通伝染病				合計
	皮膚真菌	狂犬病	微生物	その他	
犬	0	0	0	0	0
猫	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0

令和６年度 長寿猫飼主表彰式 長寿猫写真展

動物愛護事業委員会

【 長寿猫表彰式 】

令和６年度長寿猫飼主表彰式は、10月６日に動物フェスティバル会場で行われました。

猫ちゃんの年齢上位５名の飼主様に、受賞した猫ちゃん達の飼主様の代表として、壇上にて表彰状を受け取っていただきました。

【 長寿猫写真展 】

令和６年度長寿猫写真展は、10月６日に動物フェスティバル会場で開催されました。

【 表彰長寿猫 集計結果（性別・年齢内訳） 】

年齢	20才	21才	22才	23才	24才	合計
♂	22	2	3	1	0	28
♀	35	5	2	0	0	42
合計	57	7	5	1	0	70

［ 協賛会社 ］

㈱マルワ（賞状印刷）

令和６年度 東山動物園の長寿動物への好物寄贈

動物愛護事業委員会

令和６年９月16日（月・祝）

東山動物園で「長寿動物を祝う会」が開かれました。それに合わせて今年は、下記のクロサイのアイに、長寿のお祝いとして好物の白菜を寄贈しました。

クロサイ

Diceros bicornis

・愛　称　アイ
・性　別　メス
・年　齢　37歳
・生年月日　1986年9月10日
　（広島市安佐動物公園生まれ）
・来園日　1995年10月27日

表彰状

クロサイ
愛称 アイ
メス 三十八歳

あなたは一九九五年十月に東山動植物園へ来園以来現在国内で最高齢のクロサイになりました
さらに出産により国内のクロサイを増やすことにも貢献してくれました
高齢でありながら元気に過ごす姿は多くの来園者を和ませてくれその功績は誠に顕著であります
よって長寿をお祝いする会の開催にあたりその長寿と功労を称え表彰いたします

令和六年九月十六日

公益社団法人 名古屋市獣医師会
会長 三浦泰水

クロサイについて

サハラ以南の熱帯雨林地帯を除くブッシュをすみかとするが、山地の林のある地域でも見られる。頭胴長 2.8～３m、肩高 140～160cm、体重 350～1350kg。吻の鼻骨上に２本の角が生え、口先はとがって上唇はよく動く。四肢は太く短く、それぞれ３本の蹄がある。灰色の厚い皮膚は一部にしわがみられる。成獣では体毛は耳介と尾の先だけになり、尾の先の毛は長い。

母子だけは次の仔が生まれる直前まで一緒にいるが、通常は単独生活である。

食物は潅木の葉が主であるが、ときには草も食べる。主な活動時間は早朝と夕方。

ワシントン条約附属書Ⅰ表、ICUN レッドリスト「CR（深刻な危機）」2018 年末時点で、南部中央クロサイ 2,196 頭、南西部クロサイ 2,390 頭、東部クロサイ 1,044 頭の計 5,630 頭が確認されている。

エピソード

1986 年９月 10 日に広島市安佐動物公園で生まれたクロサイのアイは、1995 年 10 月 27 日に東山動植物園に来園しました。現在、国内最高齢のクロサイになります。

アイは来園後 1996 年１月 24 日にオスのニルを出産し、生まれたニルは 2015 年１月 20 日によこはま動物園ズーラシアに移動しました。

近年のアイは、屋外展示場のお気に入りの場所でゆっくり過ごすことが多く食欲の衰えも感じさせず元気に過ごしています。

一日の採食量

青草10kg、乾草10kg、草食獣用ペレット１kg、枝葉10kg

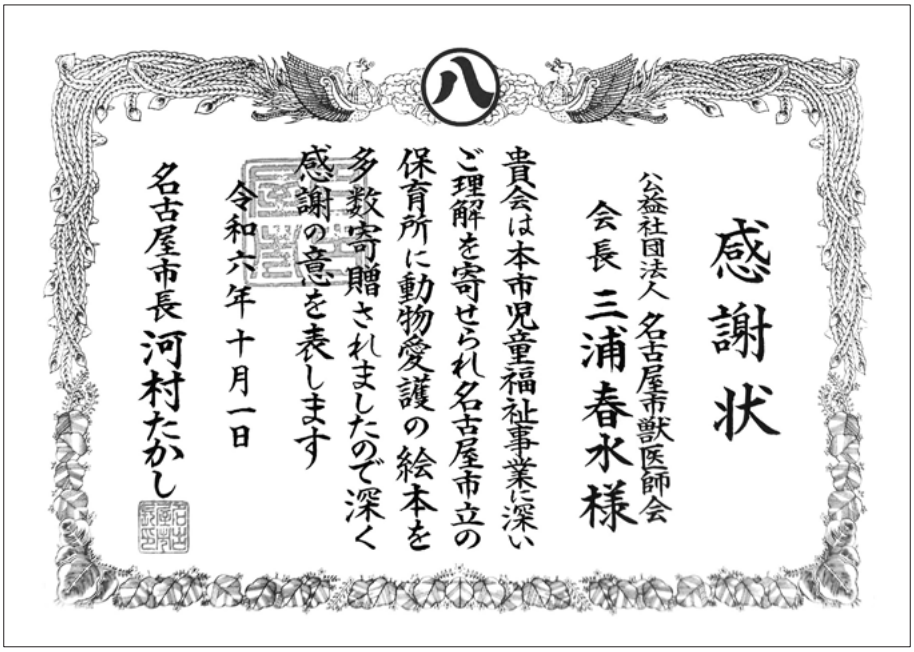
令和６年度 絵本寄贈

動物愛護事業委員会

令和６年10月１日㈫に寄贈

41年間継続寄贈しています

幼児期よりの「生命を尊重し豊かな心を育む」情操教育の一環として、名古屋市立幼保育園に今年度は13冊を一組にして10組、計130冊を寄贈しました。



感謝状

公益社団法人 名古屋市獣医師会
会長 三浦春水 様

貴会は本市児童福祉事業に深いご理解を寄せられ名古屋市立の保育所に動物愛護の絵本を多数寄贈されましたので深く感謝の意を表します

令和六年十月一日

名古屋市長 河村たかし

寄贈図書

- そら はだかんぼ！
- どうぶつのパンやさん
- りすのかぞえうた
- NEWピヨちゃんとあそぼ！ まねっこおかお
- なーんだなんだ
- よるくま
- ゆうたはともだち
- ピヨピヨスーパーマーケット
- エイモスさんがかぜをひくと
- ネコイチさん おべんとうまつり
- どうぶつしんちょうそくてい
- きょうのおやつは
- まねっこにゃんころもち

動物フェスティバル2024なごや

動物愛護事業委員会

令和６年度の動物フェスティバルは、10月６日に久屋大通公園エンゼル広場にて開催されました。

令和６年度 愛玩動物看護師法関連事業委員会事業報告

愛玩動物看護師法関連事業委員会

愛玩動物看護師の学校教育水準は以前に比べ高くなっており、愛玩動物看護師に求められる役割や能力も、今後ますます高まっていくことが予想されます。当委員会では今年度も動物病院スタッフの皆様の卒後教育の支援を微力ながら行ってきました。

現在、獣医療業界でも人手不足が問題となっており、獣医師のみならず、愛玩動物看護師や病院スタッフの人員不足も大きな課題となっています。本年度は、引っ越しやパート希望などの環境変化の中でも、引き続き動物病院でキャリアを積みたいと考える方々が活躍できる場を提供するとともに、各会員病院における健全な獣医療の一助になればと病院スタッフの求人募集を開始いたしました。

事業を推進するにあたり、本年度も当委員会の先生方をはじめ多くの会員の先生方より、ご助言とご協力を頂きました。心より御礼申し上げます。また、企業の皆様からも多大なるご支援を賜り、重ねて感謝申し上げます。

【令和６年度活動】

〇セミナー開催

令和7年3月16日(日) 『シニアを深ぼる動物看護』

講師　中村陽子先生　Pet Care Home HUZUR代表

講師　安部梅里先生　PET CARE HOME Lucca代表

〇令和７年１月現在　ippo公式LINE　　登録者数　3764名

配信内容(月一度程度配信)

愛玩動物看護師法関連情報

動物介護(安部里梅先生)、

保護動物　シェルターメディスンシリーズ(西山ゆう子先生)

カンボジアで動物看護師やってます(千村花子さん)

令和５年度 名古屋市人とペットの共生サポートセンター事業報告

名古屋市から委託※1を受けて、下記のとおり「名古屋市人とペットの共生サポートセンター」を設置し、名古屋市動物愛護センター・保健センターで実施していた事業の一部や動物愛護に関する新たな支援事業を行っています。

※１ 名古屋市が「人とペットの共生するまち・なごや」を目指して策定した「人とペットの共生推進プラン（計画期間：令和２年４月～令和12年３月）」に基づく事業の一部を受託。

１．設置年月日　令和２年６月１日

２．所 在 地　〒456-0002　名古屋市熱田区金山町一丁目５番２号　クマダ77ビル２F
電話：052-681-2211　FAX：052-681-2020

３．職員体制　10名〈常勤６名〉　令和６年３月末現在

- 施設長（主任相談支援員）…… １名〈常勤〉　獣医師
- 副施設長（副主任相談支援員）…… １名〈常勤〉　獣医師
- 相談支援員……　８名〈常勤４名〉（獣医師・愛玩動物看護師・社会福祉士※2等）
  ※２ 犬猫の飼育に不安がある方（多頭飼育者等）からの相談を受け、必要に応じて福祉関係機関と連携した支援を行うために配置
- 事務員（経理・庶務等）…… ３名（相談支援員兼務）〈常勤〉

４．主な業務内容

⑴動物の適正飼養・動物愛護に関する普及啓発教室

施設・地域等に出向いて、動物愛護教室、動物ふれあい活動やペット防災教室等を行う。

【令和５年度実績】　実施回数 101回、参加人数　6,463人

いのちの教室

動物ふれあい教室

⑵ペットの飼主への支援

ア　飼えなくなったペットの新たな飼主探し（当センターのウェブサイトに情報を掲載）

【令和５年度実績】

- ウェブサイトへの飼主募集掲載頭数　381頭（犬43頭、猫336頭、その他２）
- 新たな飼主に譲渡された頭数　55頭（犬16頭、猫 39頭、その他０）

イ　犬猫の多頭飼育等に関する相談対応
【令和５年度実績】　相談対応件数　1,034件

ウ　多頭飼育届出者を対象とした講習会(「名古屋市動物の愛護及び管理に関する条例」第５条の２第４項に基づく講習会)の開催
【令和５年度実績】　開催回数　２回、参加人数 10人

⑶地域猫活動の推進

地域猫活動を行う地域をみまもり地域として指定し、のら猫の避妊去勢手術を無料で実施できる手術券を交付し、会員病院で手術を行う。また、相談支援員を派遣し、活動グループづくりや地域の合意形成などに関するサポート、猫の保護器貸し出し、保護方法の助言等様々な支援を実施する。

【令和５年度実績】
- 専門職員の派遣件数　458件
- 手術実施頭数　995頭(避妊手術 530頭、去勢手術 465頭)

耳カットした猫
(なごやかキャット)

⑷譲渡推進事業

ア　犬猫の譲渡会

名古屋市動物愛護センターの譲渡ボランティアへの支援として名古屋市獣医師会館等で譲渡会を開催。

【令和５年度実績】
- 開 催 回 数　16回(犬 ２回、猫 14回)
- 参 加 人 数　3,092名
- 参加動物数　1,425頭(犬 47頭、猫1,378頭)
- 譲渡申込頭数　396頭(犬 14頭、猫 382頭)

猫の譲渡会

イ　譲渡犬猫周知イベント(里親会)

保護犬、保護猫の飼育の普及を目指して、新たな飼主と共に幸せに暮らす犬猫の様子等を紹介するイベントを開催する。

【令和５年度実績】
- 実施回数　３回
- 参加人数　180人
- 視聴回数　2,834回

⑸ボランティアの編成、育成及び支援事業

動物愛護推進や人とペットの共生事業に関わるボランティアの育成及び支援を目的として講習会を実施する。

【令和５年度実績】
- 実施回数　３回
- 参加人数　76人

⑹なごやペットパートナーシップ制度

ペットの飼育に不安を抱える市民やその関係者への支援として、ペットの困りごとや悩みを

解決するためのサービスを提供できる名古屋市内の事業所を登録し、適切な相談先を紹介する。

【令和５年度実績】

- 登録事業所数　56事業所
- 登録事業者向け研修会の開催回数　1回、参加人数　16人

⑺のら猫の避妊去勢手術事業

保健センター・動物愛護センターが交付する手術券を持参する方に、自己負担額メス4,000円、オス2,000円で会員病院での手術を行う。

【令和５年度実績】

- 手術実施頭数　3,003頭（避妊手術 1,669頭　去勢手術 1,334頭）

⑻犬猫の多頭飼育崩壊発生時の避妊去勢手術事業

多頭飼育崩壊発生時等に、動物愛護センターに収容された犬猫の避妊去勢手術を会員病院で行う。

【令和５年度実績】

- 手術実施頭数　０頭（猫の避妊手術　０頭、去勢手術　０頭）

⑼犬猫の譲受人への支援事業

ア　動物愛護センターが犬猫の譲渡時に交付する診療券を持参する方に、会員病院で無料の避妊去勢手術を行う。

【令和５年度実績】

- 手術実施頭数　358頭（犬　避妊手術　０頭、去勢手術　０頭）
  （猫　避妊手術 182頭、去勢手術 176頭）

イ　譲渡犬猫の診療券（ワクチン接種補助）

動物愛護センターが犬猫の譲渡時に交付する診療券を持参する方に、会員病院で名古屋市の補助額（3,000円）を差し引いた金額でワクチン接種を行う。

【令和５年度実績】

- ワクチン接種実施頭数　284頭（犬 ４頭、猫 280頭）

令和６年度 社会福祉法人 中部盲導犬協会への寄付

令和６年３月１日から令和７年２月28日までの会館屋外自動販売機による寄附金は右記のとおりです。

［ 合計金額　**￥ 34,183** ］

災害対策委員会よりお見舞いとご挨拶

災害対策委員会

（公社）名古屋市獣医師会では、被災時に会員および動物とその飼い主の方々の安全を確保し早期な復興を支援できるよう委員会を設置し、啓蒙活動並びに支援準備をすすめています。本年度も行政機関である名古屋市と災害協定を結び有事に備えるとともに、愛知県、岐阜、三重、静岡県獣医師会と東海地区獣医師会災害対策協議会を行い、日本獣医師会危機管理室とも年に数回災害対策ミーティングを持つことにより、災害対策に関する情報の共有を密に行っています。

今年度は被災時に会員の安否確認に関してLINEを導入する事で、より簡易により多くの情報が得られるように対策を実施いたしました。しかしLINEを利用していない先生に関しては、従来の連絡網も個別に対応出来るようにしております。また（公社）名古屋市獣医師会災害対策マニュアルを作成・配布し平時および有事における会員および会員病院の災害対策について情報共有いたしました。マニュアルに関しては今後、会員の先生方並びに専門家の方々のご意見を承りながら加筆修正を加え、より良い形にしていければと考えています。

昨年９月には東海地区獣医師会災害対策協議会主催にて大阪府獣医師会長であり日本獣医師会危機管理室理事でもある佐伯潤先生をお招きし災害対策に関するセミナーを名古屋市獣医師会館で行いました。市内外から多くの先生方にご参加いただき被災時における我々獣医師会としての社会的役割について知見を深めていただけた事と思います。

昨年は１月１日に能登半島地震が発生し、石川県を中心に各地に甚大な被害がもたらされました。個人的にではありますが、11月に被災地を訪問し、まだ復興とは程遠い現状を視察してまいりました。また昨年８月８日に日向灘沖に発生した地震直後に、気象庁から「南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）」が発出されました。その際には日本獣医師会危機管理室からも「地方獣医師会においても災害への備えを今一度確認していただきたい、想定震源域の東海地区の獣医師会の動きを教えてほしい」旨の連絡が入りました。これらの事は改めてこの地域にも大地震の発生が現実味をおびてきたと実感しております。日本で震度５以上の地震が過去20年以上にわたり起きていない都道府県は愛知県だけと言われています。さらに南海トラフ地震の発生確率は、今後30年で80%と報告されています。防災準備に関しては特に長く被災経験のない地域では、平時における準備をつい忘れてしまいがちになります。今後も近い将来起きるかもしれない災害に対して、（公社）名古屋市獣医師会として社会に対しての責務を感じながら準備を進めていきたいと考えています。

令和６年度 交流会

福祉厚生委員会

令和６年10月６日に、動物フェスティバルの打ち上げも兼ねての交流会が、名古屋市内にて行われました。

昨年以上にたくさんの先生方が集まり、飲んで食べて、楽しく歓談の花を咲かせました。

また、昨年は担当理事の大崎先生がサックス演奏で盛り上げて下さいましたが、今年は大崎先生に加えて平安通どうぶつ病院の三浦先生がピアノ演奏で、一段と賑やかに盛り上げて下さいました。

会 員 寄 稿

中東紛争とオイルショックの記憶

小　島　健　治

新型コロナウイルス流行の初期にティッシュペーパーやトイレットペーパーがなくなるという虚偽の情報(デマ)が拡散されて、スーパーマーケットやドラッグストアーの棚から商品が消えてしまった事は、まだ記憶に残っていると思いますが、同様のデマによる品薄状態は1973年(昭和48年)の暮れにも起きています。以下にお話しする内容は、その騒動のさなかに私が経験した事です。

ロシアが身勝手な理屈を振り回してウクライナに軍事侵攻したことのみならず、イスラエルが人質の奪還とハマス掃討を目的としてガザに軍事侵攻して中東情勢も混沌とした状況に陥っています。新聞やテレビのニュースで連日報道されていますので皆さんご存じのことと思いますが、この騒動がイランや周辺国を巻き込んで中東戦争に発展しやしないか、心配されているところです。

1973年10月６日から10月23日の短い期間ですが、第４次中東戦争が起こりました。第２次世界大戦後まもなくしてイスラエルが建国されて、以後イスラエルはエジプト、シリアといったアラブ諸国と度々衝突を起こしたのですが、第３次中東戦争までは、アメリカの支援もあってすべてイスラエルの勝利に終わってきました。この第３次中東戦争でシナイ半島(エジプトとの国境になるスエズ運河東岸)やゴラン高原(シリアとの国境)をイスラエルは占領しました。10月６日にエジプト・シリア両軍がそれぞれスエズ運河、ゴラン高原奪還を目的として、その地に展開するイスラエル国防軍に対して奇襲攻撃を仕掛けました。アラブ側から奇襲を受けたイスラエルは当初かなりの苦戦を強いられたのですが、アメリカの支援もあって戦局は次第にイスラエル優位に傾いて行き、10月24日国際連合による停戦決議を受けて停戦が成立しました。これが第４次中東戦争と呼ばれるものです。

この戦争中に行われたアラブ石油輸出機構(OAPEC)の親イスラエル国に対する石油禁輸措置とそれに伴う石油輸出国機構(OPEC)の石油価格引き上げは第１次オイルショック(第１次石油危機)を引き起こし、石油禁輸措置の直接の対象となったアメリカやオランダのみならず、日本を始めとする先進工業国における石油価格の高騰を招きました。

日本はイスラエルとアラブ諸国のどちらにも与しない中立的な立場で外交を行っていましたが、アメリカと同盟を結んでいたので、イスラエル支援国家とみなされる可能性もあるために三木武夫副総理を中東諸国に派遣して支援国家リストから外すように交渉する一方で、国民生活安定緊急措置法や石油需給適正化法を制定して事態の深刻化に対応しました。しかし相次いだ値上げによりインフレーションが加速され、世情不安に付け込んだ「紙がなくなる。」「洗剤がなくなる。」といった悪質なデマが広がり、そのデマを信じた一部の市民がスーパーマーケットや薬局に殺到して、ティッシュペーパーやトイレットペーパーや洗剤を買い求めたのです。

人が脳に記憶した内容を保持して、必要な時に呼び起こす能力(再生能力)には限界があり、それを補う手段として紙に書き記す(メモを取る)という方法を取ります。ですので、紙と筆記具を手の届くところに用意しておくというのは日頃の習慣になっています。紙はあまりにも身近な存在で、製紙には多くの燃料が必要とされるなどという事はオイルショックが起こるまで知りませんでした。また製紙後には工場より多量の廃液も排出されるので、過去には水質汚濁

の原因として問題になった事もありました。

静岡県富士市田子の浦付近には、かつて150余りの製紙工場があり、そこから未処理の廃液が長年に渡り付近の川に垂れ流され続けたために、1960年代から70年代にかけて、川の汚染にとどまらずにその先にある港(田子の浦港)さらには駿河湾全域にまで悪影響が及び、海底に堆積したヘドロが原因で船舶の航行に支障を来たし、汚染された川や海から出る悪臭のみならず製紙工場の煙突から排出される煤煙が原因で、富士市民が喘息(富士喘息)に悩まされるようになり社会問題となりました。

第１次オイルショックが起きた時私は小学５年生でしたが、５年生から６年生にかけてノートやガムなどの菓子類の値段が急に上がった事やレコード店のレコードが(石油製品であるがゆえに)品薄になった事や(政府の要請で)日曜日になるとガソリンスタンドが休業していた事を記憶しています。またやたらと「節電」が呼び掛けられていました。

そのような落ち着かない日々が続く中、いつものように教室で授業を受けていると、学年主任だった年配の男性教諭が突然教室に入って来て、私たち児童に向かって「紙不足から最近ノートの値段が急に上がった。今後もさらなる値上がりが予測されるので、今のうちにノートを買い占めしておきなさい。」と言われたのです。「えっ！買い占めしておけ？」買い占めは良くない行為と信じていた私は、この言葉に少なからずショックを受けました。もっとも私の家は貧乏で、値段の高くなったノートを幾冊も買い込む経済的な余裕などなかったので、買い占めに走ったりはしませんでしたが。

しかし普段何気に使っている紙も、製造され消費される過程でいろいろな問題が発生していることを知るきっかけになりました。あれから50年程経っていますが、現在では使い終えた後むやみに焼却処分するとCO_2が発生して、それが地球温暖化の一因となって様々な異常気象を引き起こす原因にもなるので、再生利用するとか、過度に紙に依存しないペーパーレスな生活を心掛けるようになってきたのは必然的な流れなのでしょう。今思い返すと、この時学年主任の先生は、「(何冊か)買い置きをしておきなさい。」と言うつもりが誤って「買い占めておきなさい。」と言ったのかもしれません。

文章の出典元

- https://ja.wikipedia.org/wiki/第四次中東戦争
- https://ja.wikipedia.org/wiki/田子の浦ヘドロ公害

令和６年度 名古屋市獣医師会行事

４月８日～ ５月17日	狂犬病予防集合注射事業
６月16日	名古屋市獣医師会　定時総会
９月16日	東山動物園のクロサイのアイ(37歳♀)に、長寿のお祝いとして好物の白菜を寄贈
10月１日	動物優良図書絵本(10冊を13組)名古屋市立幼保育園に寄贈
10月６日	動物フェスティバル2024なごや
10月６日	長寿猫飼主表彰式、長寿猫写真展 ・長寿猫(70頭　20～24歳　♂28頭、♀42頭)
11月15日	名古屋市獣医師会学術Webセミナー （人獣共通感染症） 演　題：『犬レプトスピラ症アップデート』 講　師：村田佳輝 先生(むらた動物病院 院長)
３月16日	愛玩動物看護師・動物病院スタッフセミナー 「シニアを深ぼる動物看護」 演題１：「シニアケア　歩ける×歩けない　運動と介護ケア」 講　師：中村陽子 先生(Pet Care Home HUZUR 代表) 演題２：「歩けない！　寝たきりになったらさてどうする？」 講　師：安部里梅 先生(PET CARE HOME Lyuca 代表)
３月21日	名古屋市獣医師政治連盟　総会
３月21日	名古屋市獣医師会　臨時総会
３月23日	創立60周年記念式典・祝賀会

退 会 者 報 告

令和６年８月31日　山田公造先生(中川区)、令和６年11月18日　清水美雄先生(中区)が本会を退会されました。

物 故 者 追 悼

本年度はございませんでした。

美味しくて与えやすい
ブリッジ
パラタブル錠
＼Push!／

ワンちゃんへ、ネコちゃんへ
そして、ペットオーナーへの
配慮がうれしい。

Heart TAB SERIES
ハート錠シリーズ

注意-獣医師等の処方箋・指示により使用してください

動物用医薬品 要指示 指定

ベナゼハート®錠2.5
ベナゼハート®錠5

犬慢性心不全及び
猫慢性腎不全用持続性ACE阻害剤
100錠（10錠×10シート）

美味しく簡単投与

ワンプッシュで簡単に、均等に分割できます。
嗜好性の高いお魚味がそのまま生かされた、
風味豊かな美味しいブリッジパラタブル錠です。

レイヤリングコーティングパラタブル技術

本剤は犬及び猫において、先発品との同等性を確認しています。
また、“ベナゼプリル塩酸塩”を特殊な技術で
コーティングしています。

【成分及び分量】

品名	有効成分	含量
ベナゼハート錠2.5	ベナゼプリル塩酸塩	1錠（90mg）中2.5mg
ベナゼハート錠5		1錠（180mg）中5mg

【効能又は効果】

犬：僧帽弁閉鎖不全による慢性心不全の症状の改善
猫：慢性腎不全における尿蛋白の漏出抑制

【お問い合わせ先】TEL：03-3264-7556（共立製薬株式会社　学術）

販売元
共立製薬株式会社
東京都千代田区九段南 1-5-10

製造販売業者
リケンベッツファーマ株式会社
埼玉県川口市元郷 4-1-8

開発元
Veterinarian Medical Development CO.,LTD
獣医医療開発株式会社
埼玉県さいたま市大宮区吉敷町1-133-1

FUJIFILM
Value from Innovation
詳しくはこちら→
※一部記載のない製品もございます。
富士フイルムVETシステムズの
トータルソリューション
画像診断、検体検査など、多彩なラインアップで動物病院をサポートします。
ARIETTA 65V
iViz air V
動物用超音波画像診断装置
FCR
FCR PRIMA T2 V
FCR PRIMA V
DR
CALNEO Flow V
動物用X線画像診断システム
ワークステーション
V Station T
動物検体受託検査サービス
VETELOOP
VETELOOP Plus
検査結果閲覧システム
受付
ワークステーション
診察室
処置室
撮影室
手術室
入院室
動物用臨床化学分析装置
DRI-CHEM NX600V
シリーズ
DRI-CHEM NX700V
富士ドライケム
スライド
富士ドライケム
スクリーニングスライド
動物用免疫反応測定装置
DRI-CHEM IMMUNO AU10V
富士ドライケム IMMUNO
AU カートリッジ
vf-SAA
v-PRG
v-T4
vc-TSH
v-COR
v-TBA
動物用血液凝固分析装置
COAG2NV
動物用感染症検査キット
犬糸状虫成虫抗原
検出キット
猫免疫不全ウイルス抗体／
猫白血病ウイルス抗原
検出キット
製造販売業者:富士フイルム株式会社 ●FUJIFILM DR CALNEO Flow V 販売名:デジタルラジオグラフィ DR-ID 1800V 届出番号:4動薬第2094号 ●FCR PRIMA V 販売名:富士コンピューテッドラジオグラフィ CR-IR391V型 届出番号:22動薬第3815号 ●FCR PRIMA T2 V 販売名:富士コンピューテッドラジオグラフィ CR-IR392V型 届出番号:28動薬第706号 ●V Station T／V Station T モバイルクライアント 販売名:富士コンピューテッドラジオグラフィ CR-IR392V型(届出番号:28動薬第706号)の付属品の画像処理ソフトウェア[CR-IR392VCL] ●富士ドライケム NX600V 販売名:富士ドライケム NX600iV 届出番号:2動薬第1721号 ●富士ドライケム NX600V IC 販売名:富士ドライケム NX600V IC 届出番号:2動薬第1722号 ●富士ドライケム NX700V 販売名:富士ドライケム NX700iV 届出番号:29動薬第3089号 ●スクリーニング+9 販売名:富士ドライケムスライド スクリーニング+9 届出番号:2動薬第1650号 ●スクリーニング7 販売名:富士ドライケムスライド スクリーニング7 届出番号:2動薬第1649号 ●スクリーニング15 販売名:富士ドライケムスライド スクリーニング15 届出番号:2動薬第1651号 ●富士ドライケム IMMUNO AU10V 販売名:富士ドライケム IMMUNO AU10V 届出番号:23動薬第1450号-2 ●iViz air V 販売名:FWU Vシリーズ 届出番号:3動薬第3032号
製造販売業者:富士フイルムヘルスケア株式会社
●ARIETTA 65V 販売名:超音波診断装置ARIETTA 65V 届出番号:3動薬第415号
製造販売業者:株式会社エイアンドティー
●COAG2NV 販売名:血液凝固分析装置 COAG2NV 届出番号:4動薬第1653号
製造販売業者:極東製薬工業株式会社
●犬糸状虫成虫抗原検出キット 販売名:CHW Ag テストキット極東 承認番号:20動薬第466号
●猫免疫不全ウイルス抗体／猫白血病ウイルス抗原検出キット 販売名:FIV Ab/FeLV Agテストキット極東 承認番号:24動薬第1051号
販売業者 富士フイルム VETシステムズ株式会社 〒181-0013 東京都三鷹市下連雀3丁目35番1号 ネオ・シティ三鷹12F
fujifilm.com/ffvs/

動物病院の設計･開業コンサルティング

動物病院の新築･リフォーム

専門の設計事務所として、多くの動物病院に携わった知識と経験でお客様の希望をかなえます。

TAC 設計室

①動物病院の設計・監理

デザインを重視して「はやる病院」「使いやすい病院」「近隣苦情のない病院」を提案。
建物プラン、設計、予算管理、入札、施工図のチェック・検査等工事監理。

②開業コンサルティング（開業資金 . 移転資金不足を解消）

立地調査・売上予測、開業計画書、事業計画書の作成。将来がイメージできる
「堅実な経営」の指導。節税提案、雇用契約から保険までアドバイス。
HP 作成、広告宣伝、税理士、社会保険労務士の紹介。

③不動産（賃貸、売買）の仲介

当社グループ不動産会社が全国の不動産を仲介します。30 年以上の豊富な経験で
不動産の売買・賃貸の仲介を安全に行います。譲渡価格や、家賃の値引き交渉も行います。
売買・賃貸仲介は正規料金の３割引き。

④事業承継・動物病院の売買

自社グループ内で売買の評価が行えるためローコストで譲渡できます。
譲渡者、譲受者の相談、募集等、事業承継業務 。譲渡シュミレーション作成・事業価値、
不動産評価の算定、事業譲渡に伴う不動産売買 。

⑤経営コンサルティング

自社グループを全て黒字にした経営者がコンサルティングを行います。
毎年 10 億前後の資金調達をお手伝いしている代表者 が 労働問題から節税、資産形成、
相続の前後相談、リタイヤの着地点、退職金、相続税のアドバイスをします。

事業承継

ご相談窓口

一級建築士事務所
株式会社 TAC設計室

TEL 052-932-1156
名古屋市東区筒井 3-17-5

日本全薬工業株式会社
ZENOAQ 福島県郡山市安積町笹川字平ノ上1-1

www.zenoaq.jp

sysmex | Lighting the way with diagnostics

選べる“ポチ”

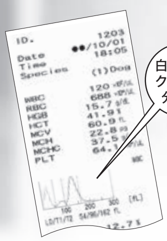
pocH-100*i* Vシリーズが「もっと使いやすく」を実現しました。

診療目的にあわせた2種類の“ポチ”は、タッチパネルによる簡単操作で
豊富な臨床データに裏づけされた信頼性の高い検査を実現します。

簡 単 測定はサンプルを全血のままセットして、
モニタ画面上のスタートボタンにタッチするだけ。
また、洗浄も自動的に実施します。

高性能 独自開発の試薬により白血球を分画します。
また、血球数が多い動物血測定に効果を発揮する
シースフロー方式を採用しています。

安 心 試薬にシアンを含まないヘモグロビン測定法の
採用で、試薬の管理も安心です。



白血球をクリアに分画！
内蔵プリンターでの印字例

動物種の選択はタッチパネルに触れるだけ。
ウシ・ウマにも対応*
*pocH-100*i*V Diffのみ
商品紹介サイト
コンパクトなボディはほぼA3サイズのスペースに入ります。

(動物用) 多項目自動血球計数装置
pocH™-100*i* V Diff / pocH™-100*i* V
動物用医療機器承認番号：25動薬第322号　動物用医療機器承認番号：15消安第1678号

測定項目	イヌ	WBC, RBC, HGB, HCT, MCV, MCH, MCHC, PLT, LYM#, EO#, OTHR#, LYM%, EO%, OTHR%, RDW-SD, RDW-CV, PDW, MPV, P-LCR
	ネコ	WBC, RBC, HGB, HCT, MCV, MCH, MCHC, PLT, LYM#, EO#, OTHR#, LYM%, EO%, OTHR%, RDW-SD, RDW-CV
	ウシ・ウマ	WBC, RBC, HGB, HCT, MCV, MCH, MCHC, PLT, LYM#, OTHR#, LYM%, OTHR%, RDW-SD, RDW-CV, PDW, MPV, P-LCR
研究用項目	other	WBC, RBC, HGB, HCT, MCV, MCH, MCHC, PLT, RDW-SD, RDW-CV, PDW, MPV, P-LCR, W-LCR, W-MCR, W-SCR, W-LCC, W-MCC, W-SCC

・pocH-100*i*V Diffの項目表となります。
・電気抵抗検出方式は血球の体積を分画条件として採用しています。特にネコ種においては赤血球と血小板の体積が近似する場合があるため粒度分布異常フラグ（PUフラグ）が表示されることがあります。

製造販売元
シスメックス株式会社　本　社　神戸市中央区脇浜海岸通1丁目5番1号　〒651-0073
（お問い合わせ先）
支　店　仙　台 022-722-1710　北関東 048-600-3888　東　京 03-5434-8550　名古屋 052-957-3821　大　阪 06-6337-8300
　　　　広　島 082-248-9070　福　岡 092-411-4314
営業所　札　幌 011-700-1090　盛　岡 019-654-3331　長　野 0263-31-8180　新　潟 025-243-6266　千　葉 043-297-2701
　　　　横　浜 045-640-5710　静　岡 054-287-1707　金　沢 076-221-9363　京　都 075-255-1871　神　戸 078-251-5331
　　　　高　松 087-823-5801　岡　山 086-224-2605　鹿児島 099-222-2788
日本・東アジア地域本部 03-5434-8565

www.sysmex.co.jp

予防を科学し、人と動物を健やかに

鶏用ワクチン

日生研ニューカッスル生ワクチンS
日生研C-78・IB生ワクチン
日生研MI・IB生ワクチン
ガルエヌテクトS95-IB
日生研NB生ワクチン
ガルエヌテクトS95-NBL
日生研ILT生ワクチン
日生研IBD生ワクチン
日生研乾燥鶏痘ワクチン
AE乾燥生ワクチン
ガルエヌテクトCBL
日生研鶏コクシ弱毒3価生ワクチン(TAM)
日生研鶏コクシ弱毒生ワクチン(Neca)
日生研EDS不活化ワクチン
日生研EDS不活化オイルワクチン
日生研ACM不活化ワクチン
日生研NBBAC不活化ワクチン

豚用ワクチン

豚コレラ生ワクチン
スワインテクトAPX-ME
日生研豚APワクチン125RX
日生研豚APM不活化ワクチン
日生研MPS不活化ワクチン
日生研グレーサー病2価ワクチン
スワインテクトPRRS-ME
スワインテクトSER-ME
日生研豚丹毒不活化ワクチン
日生研豚丹毒生ワクチンC
日生研ARBP混合不活化ワクチンME
日生研ARBP・豚丹毒混合不活化ワクチン
日生研PED生ワクチン
日生研TGE・PED混合生ワクチン
日生研日本脳炎生ワクチン
日生研日本脳炎TC不活化ワクチン

馬用ワクチン

エクエヌテクトERP
エクエヌテクトFLU
エクエヌテクトJIT
日生研日本脳炎TC不活化ワクチン
日生研日脳・馬ゲタ混合不活化ワクチン
日生研馬ロタウイルス病不活化ワクチン
破傷風トキソイド「日生研」

牛用ワクチン

アカバネ病生ワクチン“日生研”
日生研牛異常産3種混合不活化ワクチン

犬・猫用ワクチン

日生研狂犬病TCワクチン
(共立製薬株式会社販売です)

魚用ワクチン

オーシャンテクトVNN

NISSEIKEN 日生研株式会社
〒198-0024 東京都青梅市新町9丁目2221番地の1
TEL 0428-33-1009(営業部)　URL https://www.jp-nisseiken.co.jp

動物用医薬品・サプリメント、動物用医療機器、混合飼料、

医療消耗品等卸売販売

Finese

【動薬部】

名古屋支店：TEL：052.774.2638 〒465-0092 名古屋市名東区社台 3 丁目 179

豊橋営業所、三重営業所、金沢支店/本社、富山支店

名古屋ペット霊園

主宰：宝泉寺

◆ 葬式・火葬・供養を承ります。

◆ 病院までお引取に伺います。

〒468-0058　愛知県名古屋市天白区植田西 3-811
TEL：052-806-0194　HP：https://hosen-ji.jp

◆ 電話対応時間　24時間対応 ◆
◆ 開門受入時間 10:00～17:30 ◆

慈妙院（じみょういん）動物霊園

41年の伝統と信頼

〒487-0021 愛知県春日井市東神明町 479
TEL：0568-51-1059　HP：https://jimyouin.or.jp

一つの尊い命

ひと昔前、ペットの命はとても軽く見られ、お経をあげてもらうこともなく土に埋められたり、ゴミとして処理されることが一般的でした。しかし最近では、ペットを一つの尊い命家族の一員としてとらえ、葬儀も人間と何ら変わらないものを望まれる方が増えてきています。

同じように、生ある間、愛しい子に少しでも永く幸せな生涯を送って欲しいと望んでいます。当山ではペットを亡くされた際には、「死亡診断書」をかかりつけの先生にお願いし、一つの尊い命として、人間同様の扱いをしてもらえるように努めております。

また、ペットの地位向上の為、賛同して下さる先生方の病院を　当山にてご紹介もしています。

一つの大切な命として親身に対応して下さる良い先生方と出会い、その子の生涯を、一緒にサポートしていきたいと、当山は考えております。

あなたの手で愛する子を幸せへと導いてあげませんか。

総本山 長楽寺動物霊園　☎052-811-6036

〒457-0014 名古屋市南区呼続 4-13-18　http://www.chourakuji.org

医薬品・動物薬品・検査機器
医療のトリプルメリットを追求する

中北薬品株式会社

松軒支店（052）935－4636
豊橋支店（0532）54－9151
岡崎支店（0564）21－7211

動物病院　設計設備

有限会社 メディカル技研

〒487－0034
愛知県春日井市白山町3－19－15
TEL（0568）52－0138
http://www.medical-giken.com

私たちアスコが目指すのは、
日本で一番価値（魅力）あるアニマルヘルスケア企業です

株式会社 アスコ

名古屋営業所
愛知県名古屋市北区西味鋺2-710
TEL 052-901-1366

編 集 後 記

このたびは、無事に60周年記念特別号を発行することができました。これもひとえに、皆様のご指導・ご協力あってのこと、まことにありがとうございました。

いつも無茶振りしてしまっても快く引き受けて下さる獣医師会の皆様、編集委員会の皆様、そして、原稿の執筆が遅くても辛抱強くまって頂いて、さらに素晴らしい装丁に仕上げて下さった株式会社ワコーヴィスコムの皆様には感謝してもしきれない思いです。

さて、元旦に最大震度７、M7.6という大規模な地震が能登半島を直撃するという、前代未聞の事態で幕を開けた2024年ですが、その後には８月に宮崎県沖でM7.1の地震が発生し、９月には震災からの復興を目指す能登半島を記録的大雨が襲うという事態にもなりました。今後30年以内に南海トラフ地震が発生する確率は80％程度だそうで、我々名古屋市獣医師会も、いつ災害に見舞われても対応できるように、早急に準備を整える必要があるように思いました。

逆に嬉しいニュースとしては、パリオリンピックで日本は海外五輪としては史上最多のメダル45個を獲得しました。また米アカデミー賞で「ゴジラ-1.0」が視覚効果賞を、「君たちはどう生きるか」が長編アニメーション賞を受賞し、エミー賞では「SHOGUN 将軍」が史上最多の18部門を受賞し、真田広之さんが日本人俳優として初の主演男優賞に輝きました。ドジャースの大谷翔平選手はメジャーリーグ初の「50本塁打・50盗塁」を達成してMVPに輝きました。

また2024年は、さらに突然AIの進化が身近に感じられるようになり世の中が変わっていくことを肌で感じた１年でもありました。これからの世界が大きく変化していくことを予感させられました。

そんな中、名古屋市獣医師会の創立60周年の節目の年である2025年を迎えることとなりました。創立60周年と言えば、人間では還暦に当たります。還暦とは十干十二支が60年で一巡して生まれた歳の干支に戻ってくるとのことです。名古屋市獣医師会もこれから２巡目に入っていきます。

創立時とは時代も変わり、新たな価値観も生まれていくことになるでしょう。それに柔軟に対応して、名古屋市獣医師会も新たな２巡目に益々の発展を遂げるように祈ってやみません。

会誌委員会　担当理事　大﨑　龍也

あゆみ Vol.60

発　行　日　2025年６月15日

発　　行　公益社団法人　名古屋市獣医師会
名古屋市中区大須４丁目12番21号
TEL：052-263-0700
FAX：052-264-9381
https://nagoyavet.jp/

会誌委員会　委員長　大﨑龍也
滝本　豊　小島健治
児玉順子　菅沼英人
鈴木克弥　圓谷　剛

印　　刷　株式会社ワコーヴィスコム
名古屋市北区木津根町61番地
TEL：052-915-0681
FAX：052-915-0671

獣医師会のほけん

公益社団法人日本獣医師会 福祉共済事業

所得補償保険

オプション
①休診時の事業支出の補償

＋

オプション
②代診医の雇い入れ費用の補償

団体割引 20%

無事故戻し返れい金 20%
保険期間が満了し、保険期間中に、就業不能・就業障害の発生がなかった場合、無事故戻し返れい金をご加入者にお返しします。

先生ご自身が病気やケガで診療できず休診した場合に備えていますか?

火災や水災などにより病院施設に損傷があった場合や、設備の電気的・機械的事項によって休診の場合の事業支出を補償するのは火災保険がありますが、医師が病気やケガで診療できないときの休診補償には、本特約がお役に立ちます。

獣医師が病気やケガで診療できない時

万が一の休診の際の事業支出（固定費）

代診医を雇い入れた時の費用

獣医師が病気やケガになって休診する場合、
従業員の給与などの事業支出（固定費）はかかります。

獣医師が病気やケガで診療できないときの休診補償それが
①「事業主費用追加補償特約」です!

獣医師が病気やケガになって、代診医を雇い入れる場合、
給与、手当等がかかります。

獣医師が病気やケガになって
代診医を雇い入れる時の費用補償それが
②「事業主費用補償特約」です!

スマートフォンからも資料請求いただけます。QRコードからアクセスしてください。▶

問い合わせ先

幹事取扱代理店
株式会社安田システムサービス
〒163-1529　東京都新宿区西新宿1-6-1新宿エルタワー29F
TEL:03(3340)6497　FAX:03(3340)5700
受付時間　平日／午前9時から午後5時まで
Mailでの受付を始めました。
njkyousai@nichizei.com(受付時間:24時間365日)

引受保険会社
損害保険ジャパン株式会社
団体・公務開発部第二課
〒160-8338　東京都新宿区西新宿1-26-1
TEL.03-3349-5402　FAX.03-6388-0161
受付時間　平日／午前9時から午後5時まで

SJ24-01081（2024/04/24）